

世界中で愛されるブランド

ベビーロック

ご使用のてびき

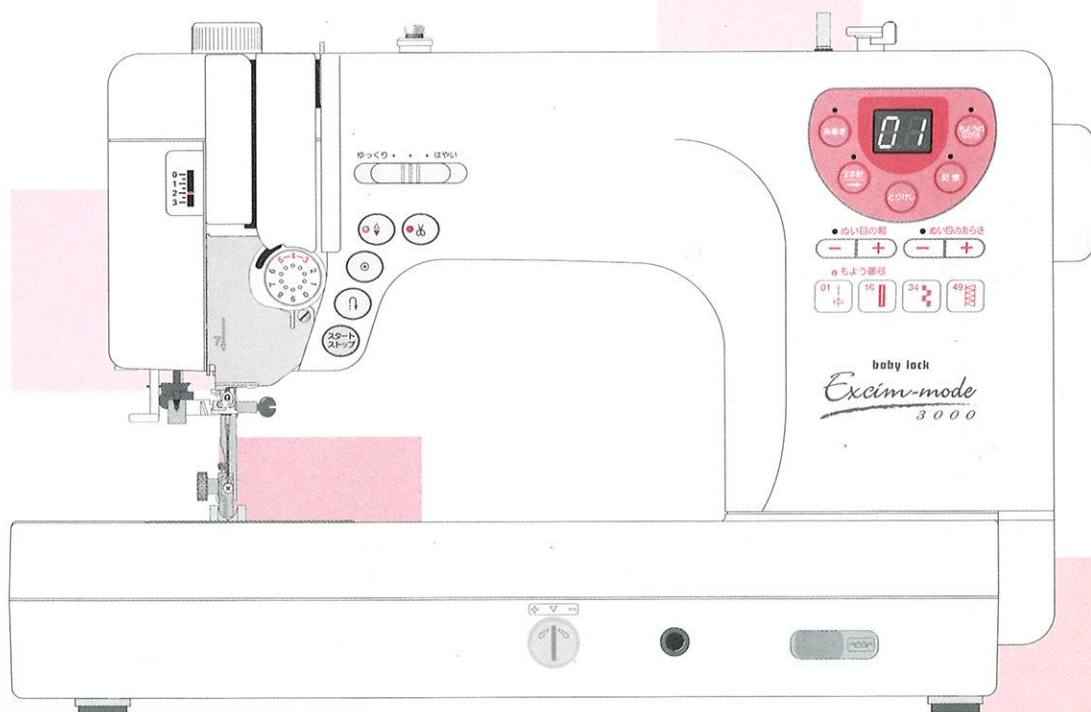
Instruction Manual

baby lock

Excim-mode

3000

エクシム-モード



お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

- ご使用前に、この「ご使用のてびき」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りのうえ、この「ご使用のてびき」とともに大切に保管ください。

株式会社 ジューキ




## 安全上のご注意




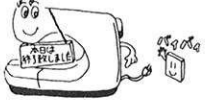
- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 For use in japan only.














### 危害・損害の程度を表わす表示

 <b>警告</b>	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示の欄は「傷害を負う可能性および物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

### 本文中の図記号の意味

	△記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 <b>警告</b> 感電・火災の恐れがあります。	
 <b>必ず実行</b>	<div style="display: flex; align-items: center;">  <p>以下のような時は、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミシンのそばを離れるとき</li> <li>・ミシンを使用したあと</li> <li>・ミシン使用中に停電したとき</li> </ul> </div> 

 <b>注意</b> 感電・火災・けがの原因となります。	
 <b>分解禁止</b>	 <b>必ず実行</b>
 <b>接触禁止</b>	 <b>必ず実行</b>
 <b>禁止</b>	 <b>必ずプラグを持って抜く</b>
 <b>禁止</b>	 <b>必ずプラグを持って抜く</b>
 <b>禁止</b>	 <b>必ず実行</b>
 <b>禁止</b>	 <b>必ず実行</b>

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

# 目 次

◎お取り扱いについてのお願い	3
◎各部の名まえ	4
◎標準付属品	5
◎操作方法	6~22
●電源のつなぎ方	6
★スタート・ストップボタンを使用する場合	6
★フットコントローラーを使用する場合	6
●速さの調節	6
★スピードコントロールつまみ	6
★フットコントローラー	6
●操作ボタンのはたらき1	7
★スタート・ストップボタン	7
★返しぬいボタン	7
★止めぬいボタン	7
★上下停針ボタン	7
★糸切りボタン	7
●操作ボタンのはたらき2	8
●模様の選び方	9
●押さえ上げ	10
●ニーリフトの取り付け	10
●押さえの取りかえ	11
●押さえホルダーの外し方、付け方	11
●各種押さえと用途	12
●下糸の準備をしましょう	13~15
★ボビンを取り出します	13
★糸こまをセットします	13
★ボビンに糸を巻きます	14
★ボビンをセットします	15
●上糸の準備をしましょう	16~19
★上糸をかけます	16~17
★糸通しの使い方	18
★下糸の引きあげ方	19
●針の取りかえ方	20
●布に適した糸や針を選ぶ目安	20
●糸調子の合わせ方	21
●押さえ圧調節ダイヤルの使い方	22
●送り歯のさげ方	22
◎実用ぬい1	23~36
●直線ぬい	23~27
★針板ガイドラインの利用	24
★ウルトラグライド押さえの利用	24
★直線針板の利用	25
★直線模様の針落ちの変更/ぬい目のあらかの合わせ方	26
★その他の直線状模様	27
●しつけぬい	28
●ジグザグぬい	29
●たち目かがり	30
●トリコットぬい	31
●ニットステッチ	31
●ファスナー付け	32~34
●三つ巻きぬい	35
●シエルタック	35
●くけぬい(まつりぬい)	36



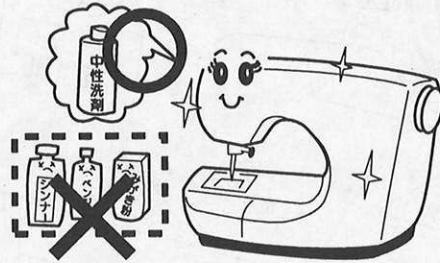
◎実用ぬい2 .....	37～48
●ボタンホールの種類と用途 .....	37
●センサーボタンホール .....	37～41
★スクエアボタンホール .....	37～39
★重ねぬい .....	40
★芯入りセンサーボタンホール .....	40
★ボタンホールの幅をかえるとき .....	41
★ぬい目のあらしをかえるとき .....	41
●オートボタンホール .....	42～43
●ボタン付け .....	44
●ダーニング .....	45～46
●かんぬき止め .....	47
●アイレット .....	48
◎パッチワークキルト .....	49～51
●針板角度目盛の利用 .....	49
●地ぬい .....	49
●パッチワーク .....	49
●キルティング .....	50
●フリーキルティング .....	50
●とじぬい（ワンサイクルぬいの例） .....	51
◎飾りぬい .....	52～56
●組み合わせ（記憶）連続模様ぬいの例 .....	52
●自動糸切り記憶例 .....	53
●エロンゲータぬい .....	54
●ファゴティング .....	55
●スモッキング .....	55
●アップリケ .....	56
◎2本針ぬい .....	57～58
◎パイピング押さえの使い方 .....	59
◎模様の形の整え方 .....	60
◎編集機能1 .....	61～62
●組み合わせ（記憶）模様の確認 .....	61
●組み合わせ（記憶）模様の削除 .....	61
●組み合わせ（記憶）模様の挿入 .....	62
●模様のコピー（記憶） .....	62
◎編集機能2 .....	63～64
●統一マニュアル .....	63
●個別マニュアル .....	64
◎ミシンの手入れ .....	65～66
●かまと送り歯、糸切り部の掃除 .....	65
●内がまと針板の組み付け .....	65
●ランプの取りかえ方 .....	66
◎こんな表示が出た場合 .....	67
◎LED点滅とブザー音の種類 .....	68
◎ミシンの調子が悪いときの直し方 .....	69



# ◎お取り扱いについてのお願い

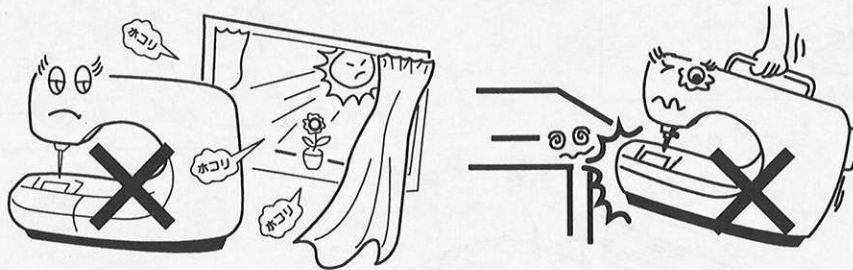
## ◇ご使用前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよく拭いてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



## ◇いつまでもご愛用いただくために

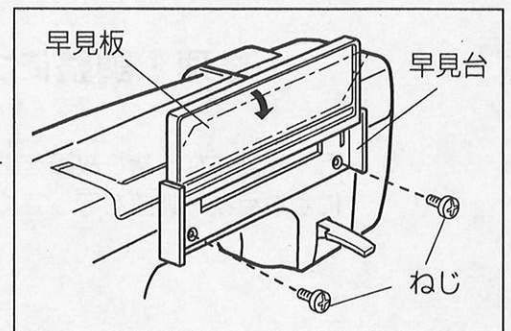
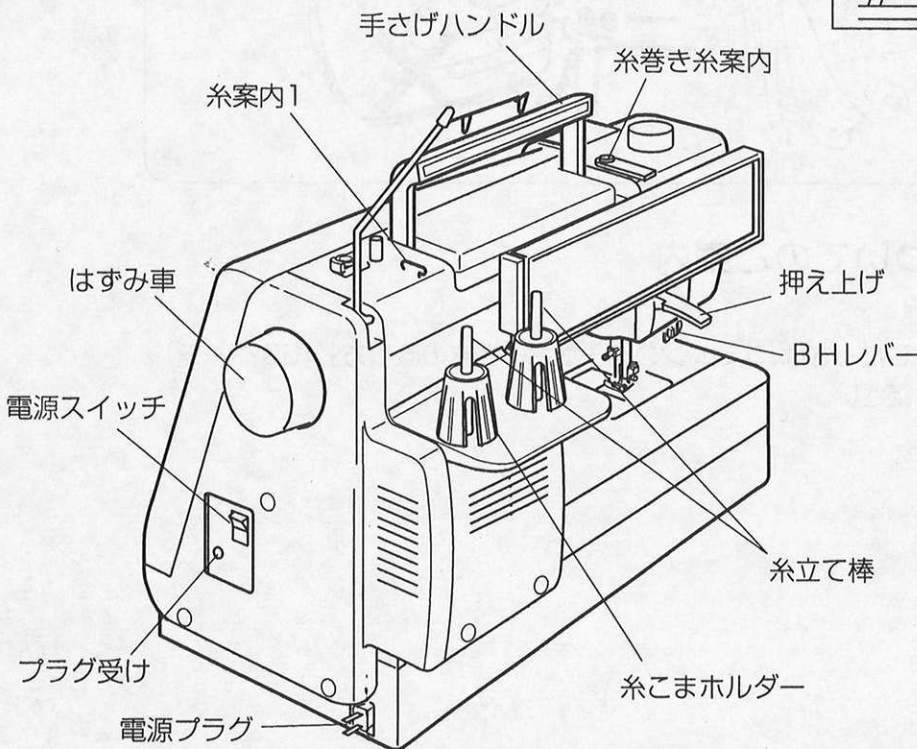
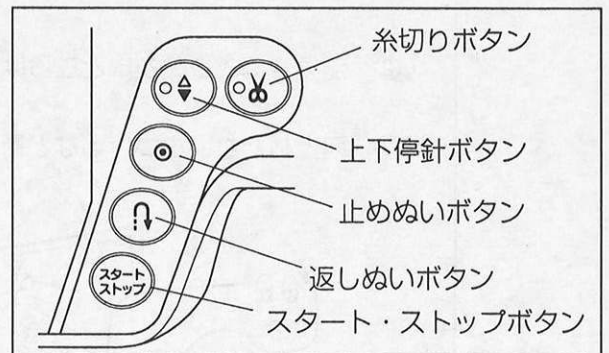
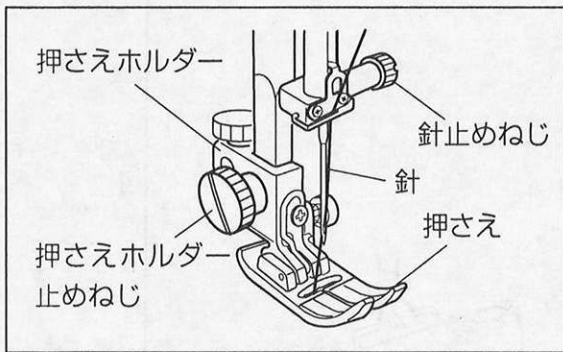
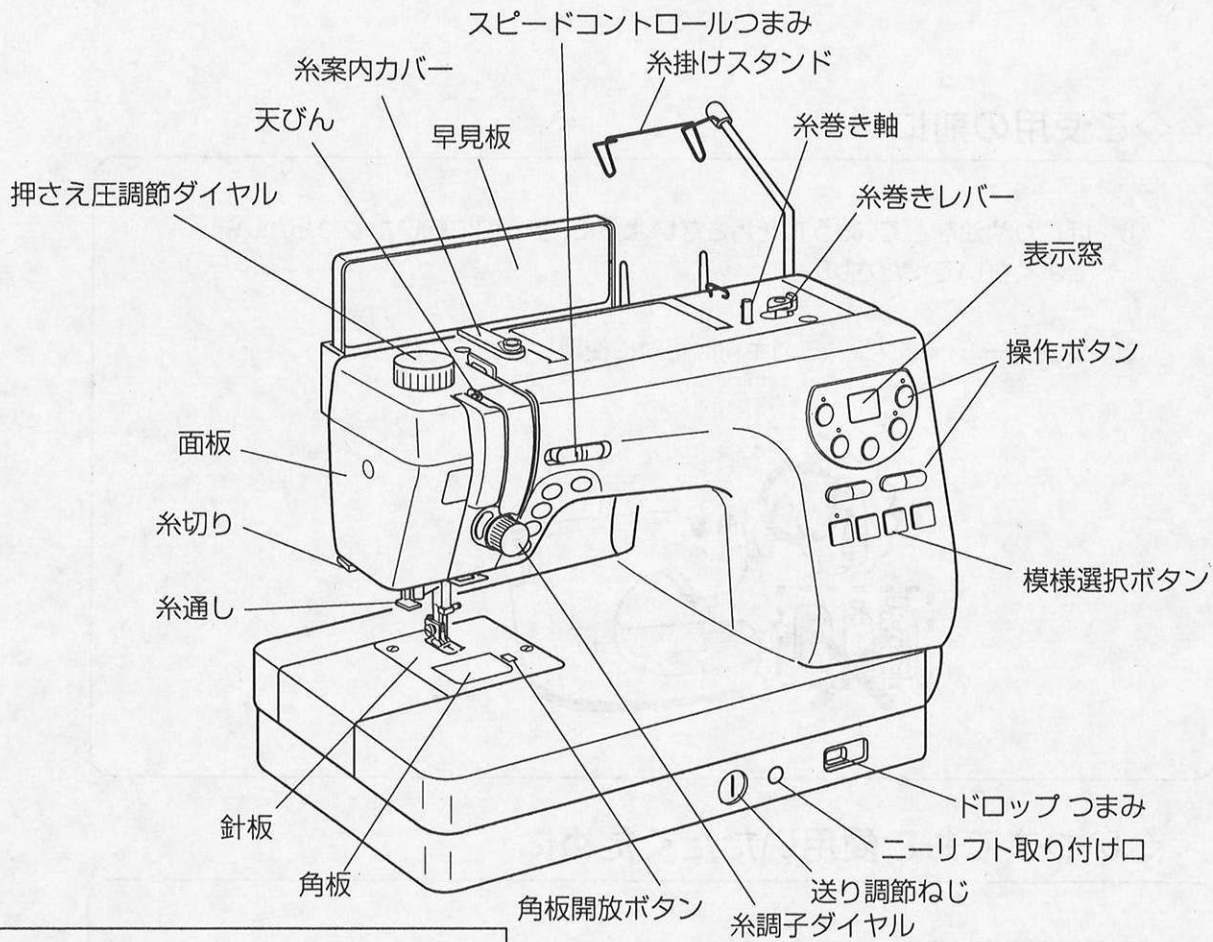
- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところは避けてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



## ◇修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(69ページ)により点検・調整を行ってください。

# ◎各部の名まえ



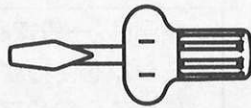
早見台の取り付けは、ねじ（2ケ）をドライバーでしっかりしめてください。  
 早見板は、回転させてください。



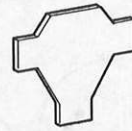
# ◎標準付属品



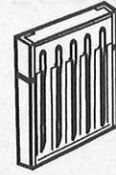
A: 基本押さえ  
(ミシン本体に取り付けてあります。)



ねじまわし



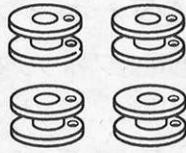
ねじまわし  
(針板取り外し用)



針と針ケース組  
(Hx1 #14x2)  
(Hx1 #11x2)  
ニット針 x1



C: たち目かがり押さえ



ボビン



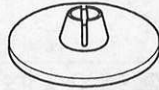
ブラシ



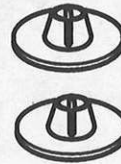
目ほどき



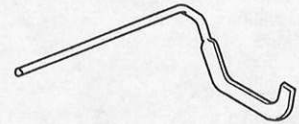
D: 三つ巻き押さえ



糸こま押さえ (大)



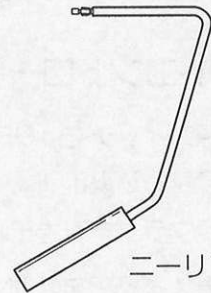
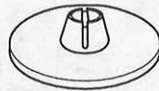
糸こま押さえ (小)



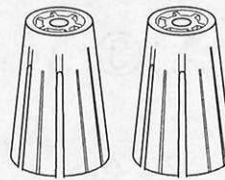
L: キルター (小)



E: ファスナー押さえ



ニーリフト



糸こまホルダー  
(ミシン本体に取り付けて  
あります。)



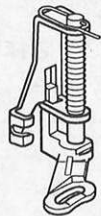
取扱説明書

F: サテン押さえ

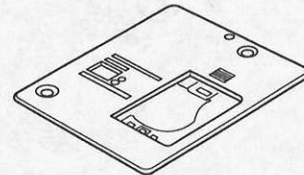
G: くけぬい (まつりぬい)  
押さえ



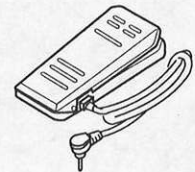
H: 直線押さえ



Q: フリーキルト押さえ

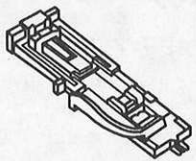


直線針板

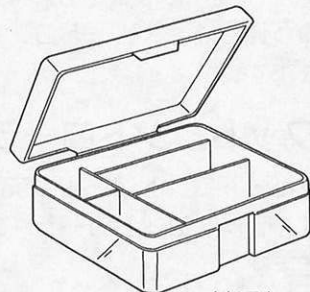


フットコントローラー

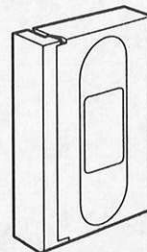
M: 縁かがり押さえ



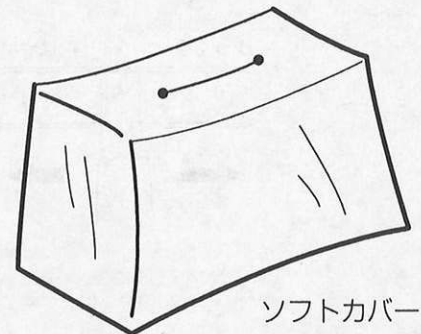
R: オートマチック  
ボタンホール押さえ



付属ケース



操作説明ビデオ

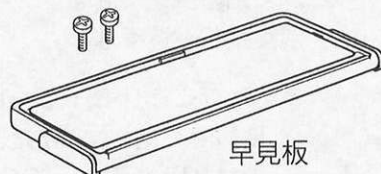


ソフトカバー

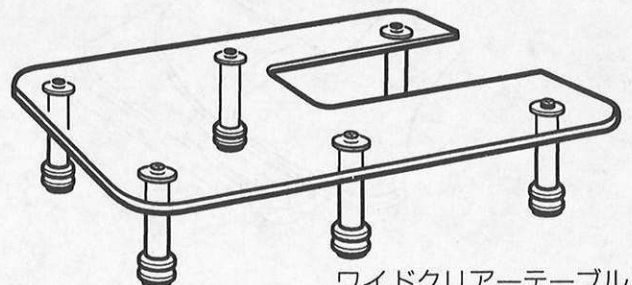
ウルトラグライド押さえ



早見板取り付けねじ

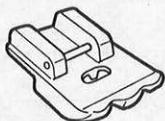


早見板



ワイドクリアーテーブル

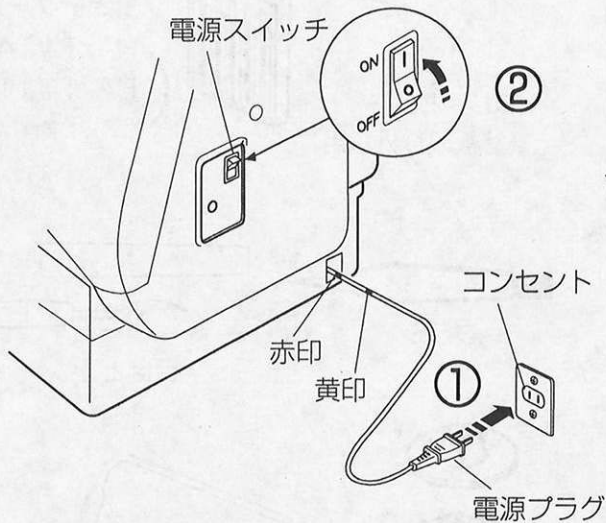
パイピング押さえ





# ◎操作方法

## ●電源のつなぎ方



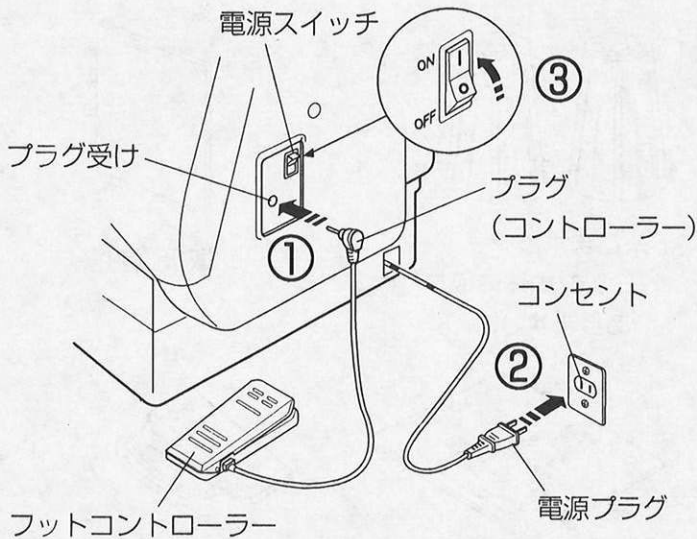
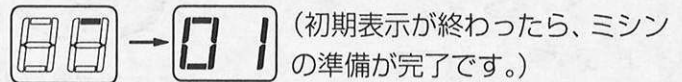
### ⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
- ミシンを使わないときは、電源スイッチを「切」(OFF)にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電・火災の原因になります。

### ★スタート・ストップボタンを使用する場合

- ① 電源スイッチを「OFF」(切)にして、電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
  - ② 電源スイッチを「ON」(入)にします。
- ※ コードを引き出したときに、黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。

【電源投入時】 1秒間ミシンの設定を行い、直線模様 # 01 を表示します。

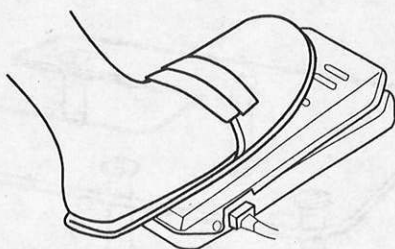
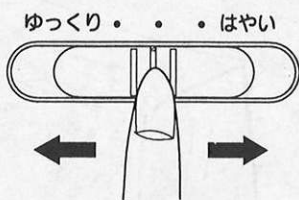


### ★フットコントローラーを使用する場合

- ① 電源スイッチを「OFF」(切)にして、プラグをプラグ受けに差し込みます。
- ② 電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
- ③ 電源スイッチを「ON」(入)にします。

- ※ フットコントローラーを使用する場合は、スタート・ストップボタンは作動しません。
- ※ コードを引き出したときに、黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。

## ●速さの調節



### ★スピードコントロールつまみ

ぬう速さは、スピードコントロールつまみで自由にセットできます。

### ★フットコントローラー

スピードコントロールつまみを「はやい」位置にセットします。フットコントローラーの踏みかげんでぬう速さが調節できます。

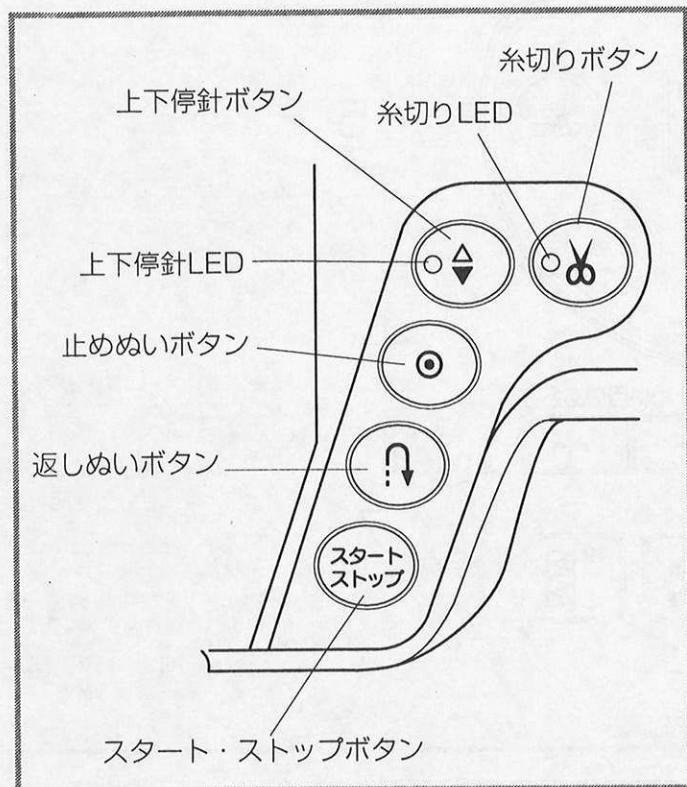
フットコントローラーをはなすと通常、針が上の位置で止まります。

深く踏む→速くなる。

浅く踏む→遅くなる。

- ※ フットコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。また、フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。  
けがや故障の原因となります。

## ●操作ボタンのはたらき 1



### ★スタート・ストップボタン

ボタンを押すと、ゆっくり動きだしスピード・コントロールつまみでセットした速さで動き始めます。

ボタンを押しつづけると、ミシンはゆっくり動きます。

- ※ スタートさせると、ボタンが「緑」から「赤」にかわります。

- ※ スタート・ストップボタンを使用するときは、フットコントローラーの接続は、外してください。

- ※ 押さえ上げをさげないでミシンをスタートしたとき、注意表示 (dn) されます。

押さえ上げをさげてスタートしてください。

### ★返しぬいボタン

#### 【運転中の返しぬい】

模様  $\begin{matrix} 01 & 02 & 07 \\ | & | & | \\ \text{中} & \text{中} & \text{中} \end{matrix}$  は、ボタンを押している間は返しぬいをします。その他の模様の中には、すぐに止めぬいをして自動的に止まります。

#### 【停止中の返しぬい】(スタート・ストップボタン使用時のみ)

模様 # 01、02、07 は、ミシンが動いていない状態で返しぬいボタンを押すと、押している間は返しぬいをし、指をはなすと止まります。

### ★上下停針ボタン

ミシンが止まっているときボタンを押すと、針の位置が上にあるときは下に切りかえ、LEDが点灯し、下にあるときは上に切りかえ、LEDが消灯します。

- ※ 上位置に切りかえた状態でぬうと、ミシンを止めたとき、針は上位置で止まり、下位置に切りかえた状態でぬうと針は下位置で止まります。

- ※ 下位置に設定しておいても、糸切り後と、ボタンホールをぬい終わったときは、上位置で止まります。

### ★糸切りボタン

ぬい終わった後に押すと、上糸、下糸を自動的に切ります。糸切り中は、LEDが点滅します。

なお、電源投入時と連続糸切りを4回行った場合には糸切りはできません。

#### 【糸切りの注意事項】

- ※ 30番より太い糸または、特殊糸を切るときには面板に付いている糸切りを使用してください。

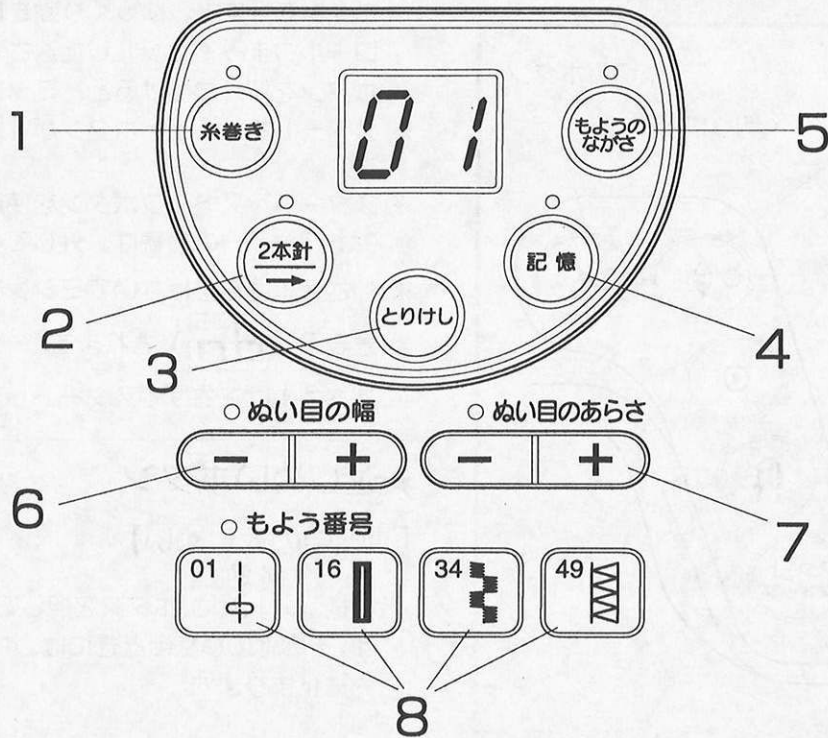
- ※ 糸切り後は下糸は引き出さなくてもぬうことができますが、一旦下糸を引きあげて、上糸と下糸を押さえの横に引き出してぬい始めると、きれいにぬい始めることができます。

- ※ 糸切り部に糸くすがたまとる故障の原因になりますので、ミシンのお手入れをしてください。(65ページをごらんください。)

- ※ 糸こまの糸残りが少ない物は使用しないでください。糸がらみや、糸抜けの原因になります。



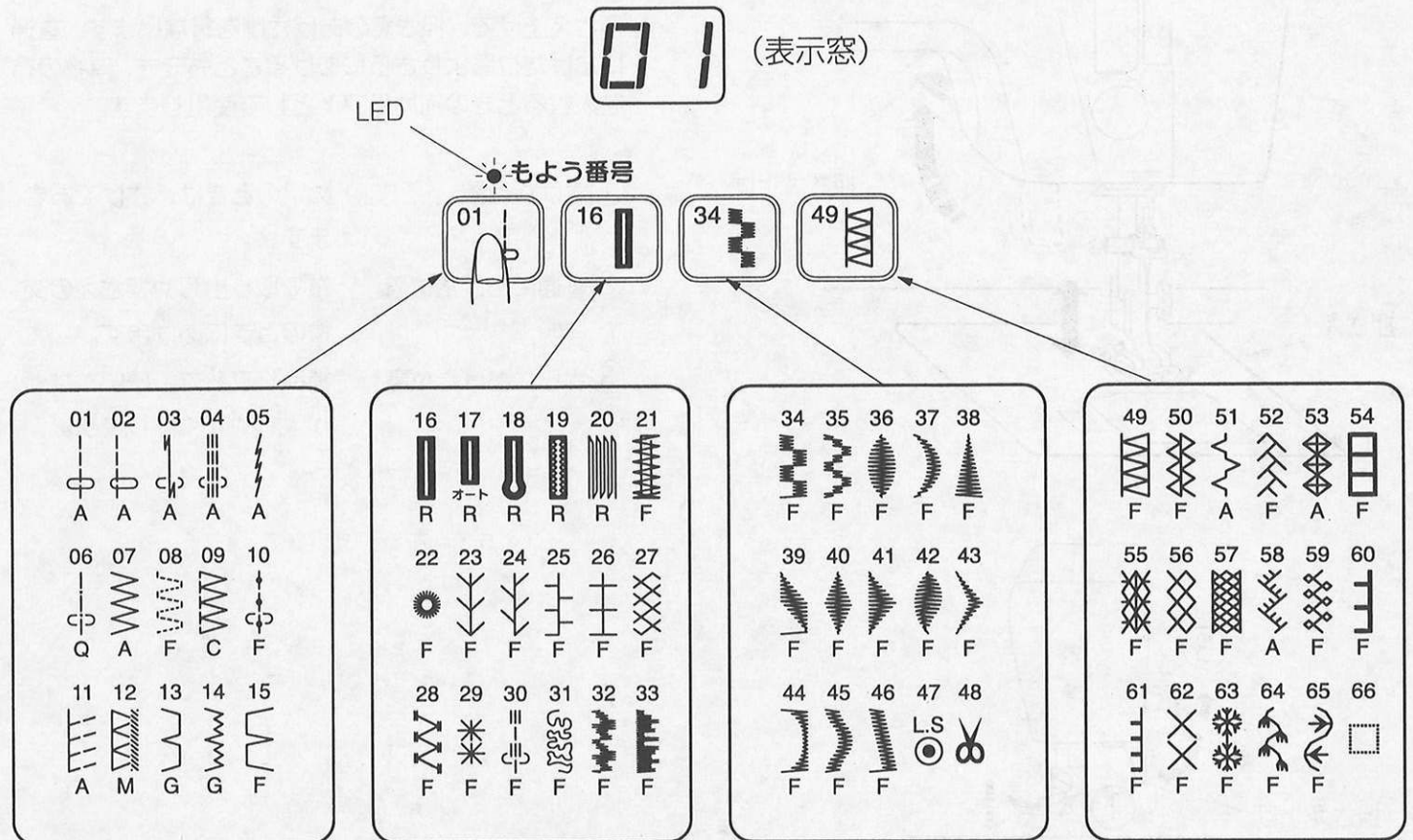
## ●操作ボタンのはたらき 2



<p><b>1</b> 糸巻きボタン (14 ページ参照)</p> <p>下糸巻きをするときに使います。 糸巻きレバーを糸巻き側にすると、糸巻きLEDが点灯します。</p>	<p><b>5</b> もようのながさボタン (54 ページ参照)</p> <p>サテン模様の模様長さをかえるときに使います。 模様の長さが2倍以上に設定したとき、もようのながさLEDが点灯します。</p>
<p><b>2</b> 2本針ボタン (57 ページ参照)</p> <p>2本針ぬいをするときに使います。 2本針設定すると、2本針LEDが点灯します。 組み合わせぬいの場合、記憶模様の確認に使います。</p>	<p><b>6</b> ぬい目の幅調節ボタン (26、29 ページ参照)</p> <p>ぬい目の幅、または基線(針落ち位置)をかえるときに使います。</p>
<p><b>3</b> とりけしボタン (61 ページ参照)</p> <p>記憶した模様を取消します。ボタンを長く押し続けていると、ブザーが長く鳴って記憶した模様がすべて取り消され、模様# 01が表示されます。 ぬい始めてからとりけしボタンを押すと、記憶した模様がすべて取り消されます。</p>	<p><b>7</b> ぬい目のあらかさ調節ボタン (26、29 ページ参照)</p> <p>ぬい目のあらかさをかえるときに使います。</p>
<p><b>4</b> 記憶ボタン (51、52、62 ページ参照)</p> <p>模様を選んでからボタンを押すと、ボタンを押した数だけその模様を記憶します。(最大50個) さらに、他の模様を選んでから記憶ボタンを押すと、前の模様が続いて、次に選んだ模様を記憶します。 記憶模様入力中は、記憶LEDは点滅します。 記憶模様をぬっているときは、記憶LEDは点灯します。</p>	<p><b>8</b> 模様選択ボタン (9 ページ参照)</p> <p>ボタンを押して、選んだもよう番号を表示窓に表示させます。</p>



# ●模様の選び方



模様選択ボタンを押して (LED 点灯)、選んだもよう番号を表示させます。

模様選択ボタン 01 を押すと、先頭模様 # 01 が選ばれます。さらに押すと、模様 # 02 ~ 模様 # 15 を選ぶことができます。

模様選択ボタン 16 は、模様 # 16 ~ # 33

模様選択ボタン 34 は、模様 # 34 ~ # 48 (模様 # 48 は、他の模様を記憶した後のみ選択できます。)

模様選択ボタン 49 は、模様 # 49 ~ # 66 の模様を選ぶことができます。(模様 # 66 はスペース模様です。)

## ※止めぬい記憶模様 # 47 (51 ページ参照)

記憶した模様の最後に模様 # 47 を記憶しておく、ぬいが終わると自動的に止めぬいをして止まります。

## ※糸切り記憶模様 # 48 (53 ページ参照)

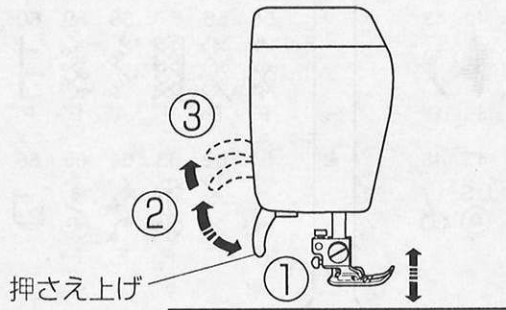
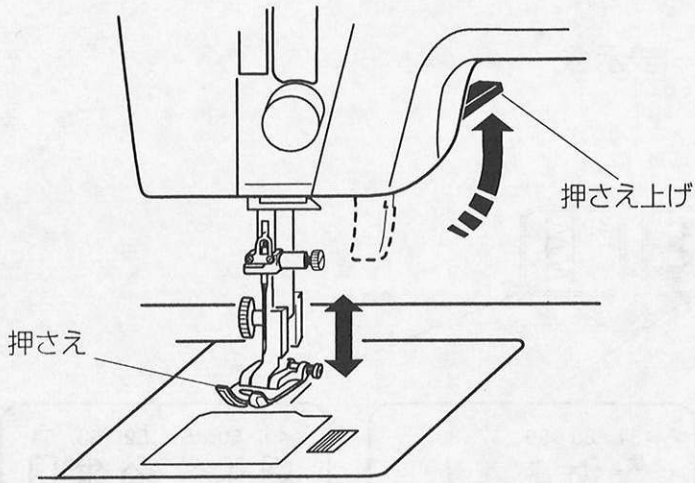
記憶した模様の最後に模様 # 48 を選び記憶します。

糸切り LED が点灯して糸切り記憶したことを示します。

ぬいが終わると止めぬいをして自動的に糸切りを行います。

※模様の下にある記号は押さえ記号です。模様に合った基本的な押さえとなっていますので、同じ模様でもぬい方により使用する押さえが異なる場合があります。使用する押さえは、ぬいの項目で確認してください。

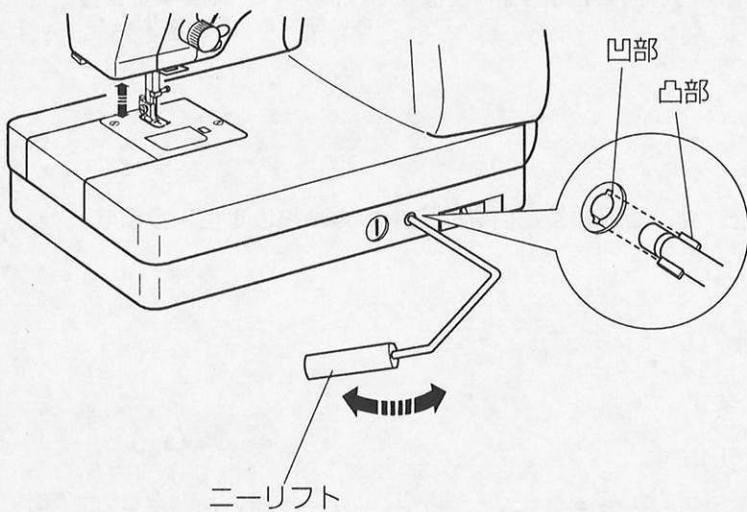
## ●押さえ上げ



押さえ上げで、押さえのあげ下げを行ないます。普通にあげた位置よりさらにあげることもでき、厚物の布を入れるときの補助リフトとして使用します。

- ①さげた位置 \_\_\_\_\_ ぬいのはきは、さげておきます。
- ②普通にあげた位置 \_\_\_\_\_ 布の取り出しや押さえの交換のときにあげます。
- ③さらにあげた位置 \_\_\_\_\_ 補助リフトで、厚い布などが入れやすくなります。

## ●ニーリフトの取り付け



ニーリフトは手を使わずに押さえのあげ下げができるので、キルトなどをぬうときに使うと便利です。

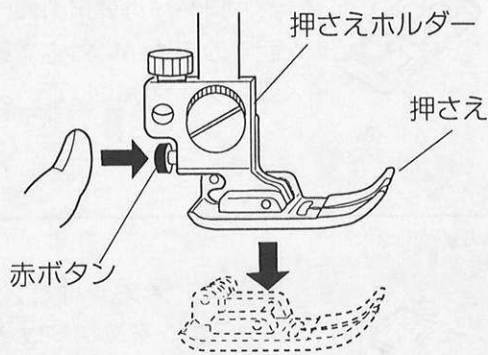
取り付けは、ニーリフトの凸部を取り付け穴の凹部に合わせ、差し込みます。

ひざを使ってニーリフトを右側に押しと押さえがあがり、左にもどすと押さえさがります。

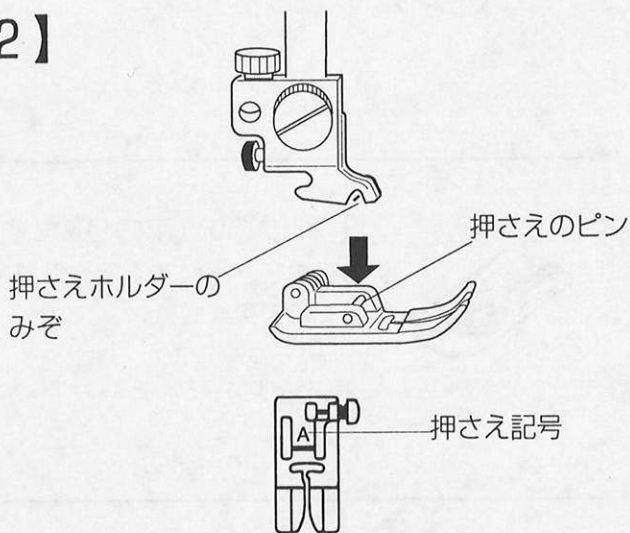
※ ぬい中は、ニーリフトにふれないようにしてください。模様くずれの原因になります。

## ●押さえの取りかえ

### 【1】



### 【2】



### ⚠ 注意

押さえ、押さえホルダーの交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。  
けがの原因になります。

### 【1】 外し方

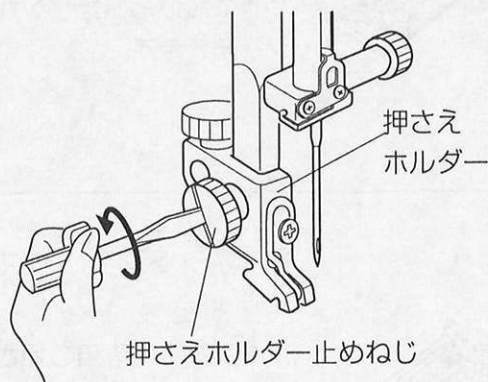
- ① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダーの赤ボタンを押して、押さえを外します。

### 【2】 押さへの付け方

押さへのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをさげます。  
※ 押さえには記号が付いていますので模様にあったものを使用してください。

## ●押さえホルダーの外し方、付け方

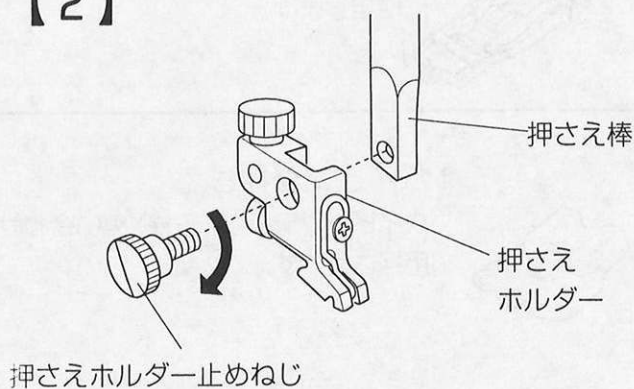
### 【1】



### 【1】 押さえホルダーの外し方

- ① 針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダー止めねじを左にまわして外し、押さえホルダーを外します。

### 【2】



### 【2】 押さえホルダーの付け方

押さえ棒の取り付け穴に押さえホルダーの穴を合わせ、押さえホルダー止めねじを右にまわしてしっかり取り付けます。



## ●各種押さえと用途



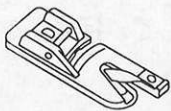
### A：基本押さえ

直線ぬいを主に、地ぬいをする時に使用します。  
糸締まりが良く、パッカリングの発生にも強い形状をしています。



### C：たち目かがり押さえ

たち目かがり専用の押さえで、布の端面での空ぬいに対応するよう右針落ち部をブラシ状にしています。



### D：三つ巻き押さえ

三つ巻きぬいによる布端処理をするために、布端を巻き込むための器具がついています。



### E：ファスナー押さえ

ファスナーをぬいつけるための特殊な形をしています。



### F：サテン押さえ

密着模様ぬい、飾り模様ぬいをするための押さえで前後進ぬいで模様を安定させるために押さえの裏が逃げています。



G：くけぬい(まつりぬい)押さえ  
ぬい幅を一定にするためのガイドが付いています。



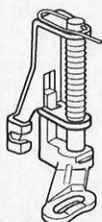
### H：直線押さえ

直線ぬい専用の押さえです。  
付属の直線針板と一緒に使用します。



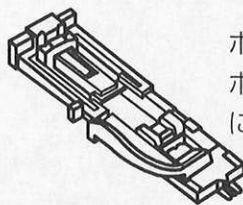
### M：縁かがり押さえ

縁かがり専用の押さえで、針落ちに合わせて設けられたピンが布のカーリングを防ぎます。



### Q：フリーキルト押さえ

針の上下と同期して上下する構造になっていて、フリーキルティングに最適です。  
その他、しつけぬいにも利用します。



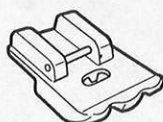
### R：オートマチックボタンホール押さえ

ボタンホール専用の押さえで、全てのボタンホールぬいと、ダーニングぬいに使用します。



### ウルトラグライド押さえ

非常に滑りの良い特殊素材でできた押さえなので、滑りの悪い素材、合成皮革などもスムーズにぬうことができます。  
一般の布地でも使用できます。



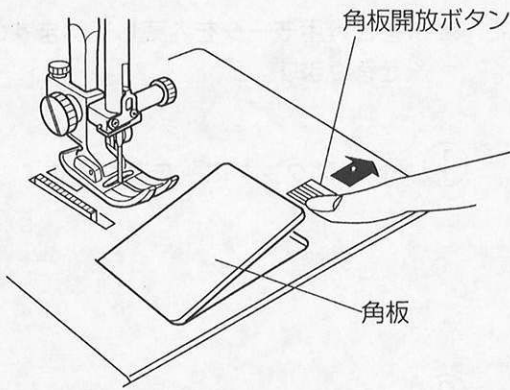
### パイピング押さえ

パイピングテープ(玉縁)ぬい合わせ専用押さえです。

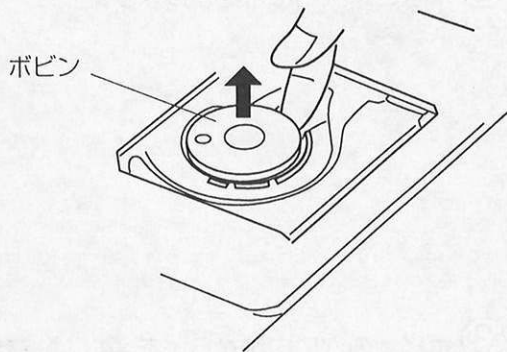
※その他、別売アタッチメントも用意しております。詳しくは販売店にてお訪ねください。

## ●下糸の準備をしましょう

①



②



### ★ボビンを取り出します

① 角板開放ボタンを右へずらして角板を外します。

② ボビンを取り出します。

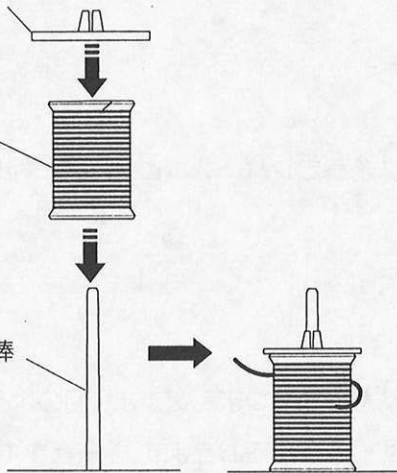
※ ボビンは、必ず、専用ボビンをご使用ください。  
他の製品を使用すると故障の原因になります。

### 【1】

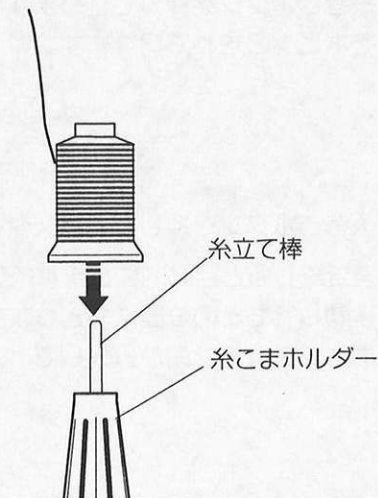
糸こま押さえ (大)

糸こま (大)

糸立て棒



### 【2】



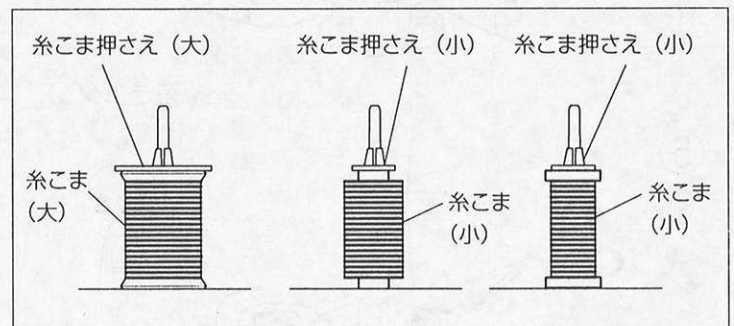
### ★糸こまをセットします

#### 【1】 こま巻きの場合

糸の端がうしろ側から左に出るようにして、糸立て棒に糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまを押さえます。

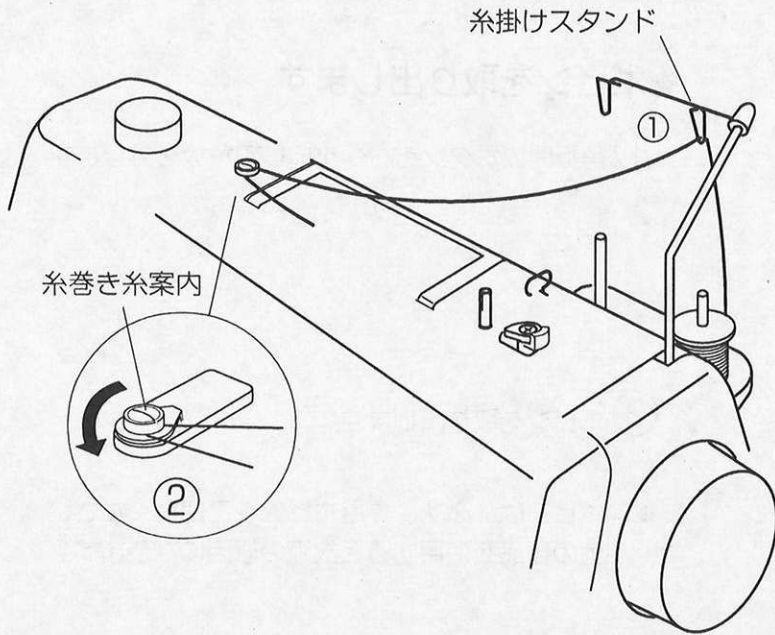
※ 糸こまの糸残りが少ない物は使用しないでください。  
糸がらみや、糸抜けの原因になります。

※ 糸こま押さえ (小) は、小さい糸こまに使用します。



#### 【2】 チーズ巻きの場合

糸立て棒に糸こまホルダーを差し込み、糸こまをセットします。

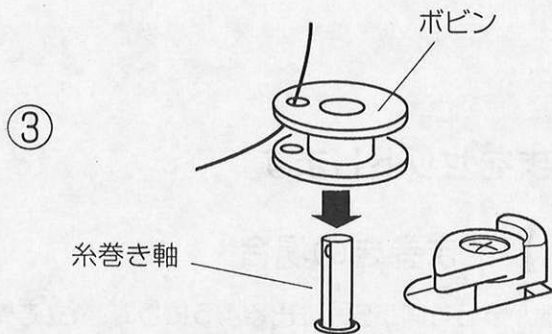


## ★ボビンに糸を巻きます

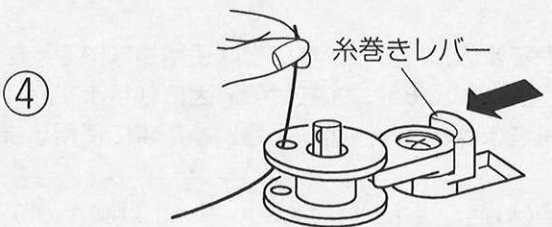
※ 糸巻き専用モータを内蔵していますので、いつでも糸を巻けます。

① 糸掛けスタンドに糸を通します。

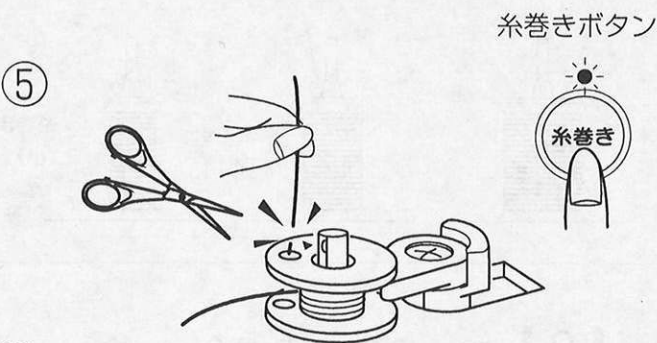
② 糸巻き糸案内に糸をかけます。



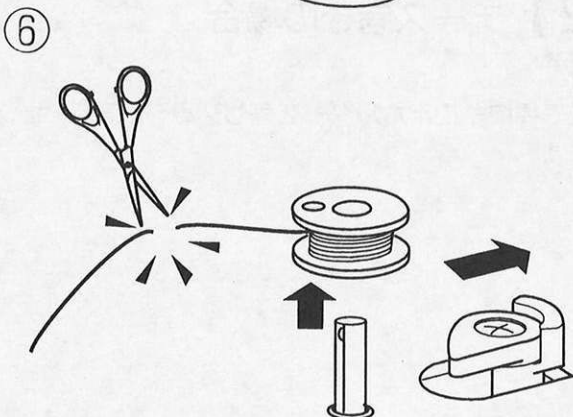
③ ボビンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。



④ 糸巻きレバーをボビンの方に押しつけます。



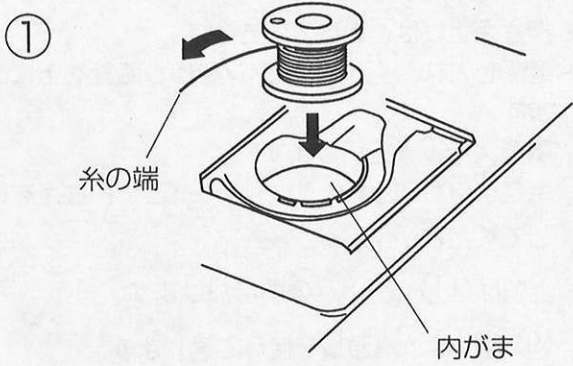
⑤ 糸の端をつまんだまま（図のように上方向にかるくつまんでおきます。）糸巻きボタンを押します。糸巻きがスタートして糸が3重ほど巻きついたら、糸巻きボタンを押して止めます。つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。



⑥ 糸巻きボタンを押し、再びスタートします。巻き終わると自動的に止まり糸巻きレバーが右に移動してもとの位置にもどります。ボビンを糸巻き軸から外して、糸を切ります。

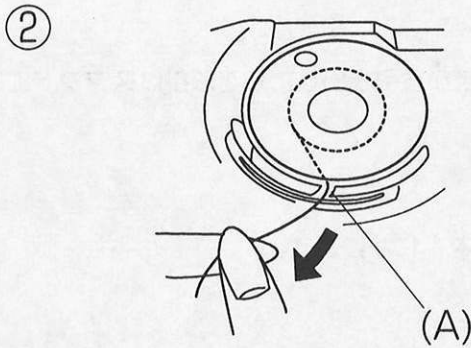


## ★ボビンをセットします

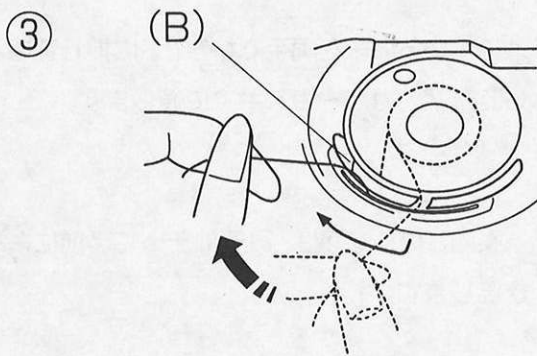


① 糸の端を矢印方向に出し、ボビンを内がまに入れます。

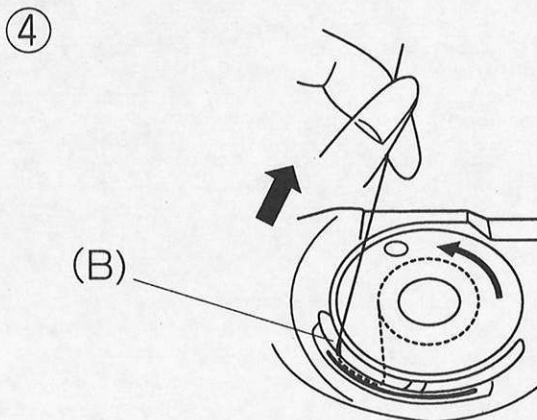
※ ボビンの巻き量が少ないものは、使用しないでください。糸がらみの原因になります。



② 糸の端を引きながら、手前のみぞ (A) にかけます。

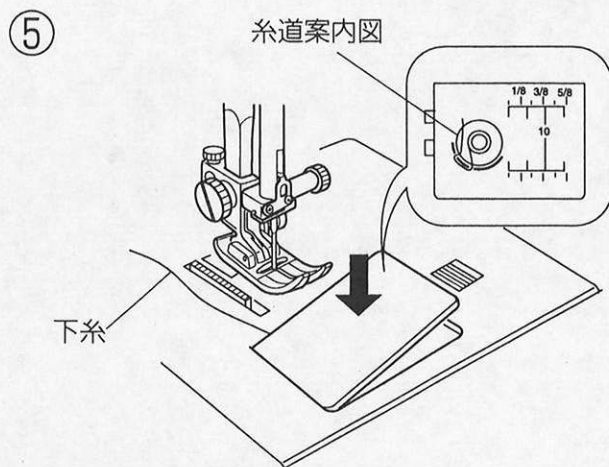


③ 糸を引きながら、左へ移動させ、みぞの外側とバネの間を通して、左側のみぞ (B) のところに出します。



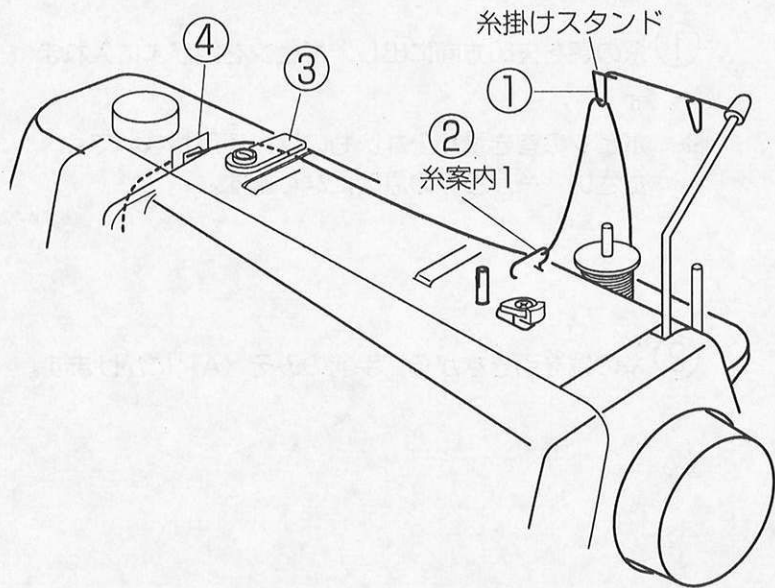
④ 糸を左側のみぞ (B) にかけるように向こう側に出します。

※ 糸を引き出したとき、ボビンは、反時計方向に回転します。時計方向に回転した場合、ボビンの向きを上下逆に入れかえてください。



⑤ 下糸は、10cmくらい引き出して、角板を左側から合わせてつけます。

## ●上糸の準備をしましょう



## ★上糸をかけます

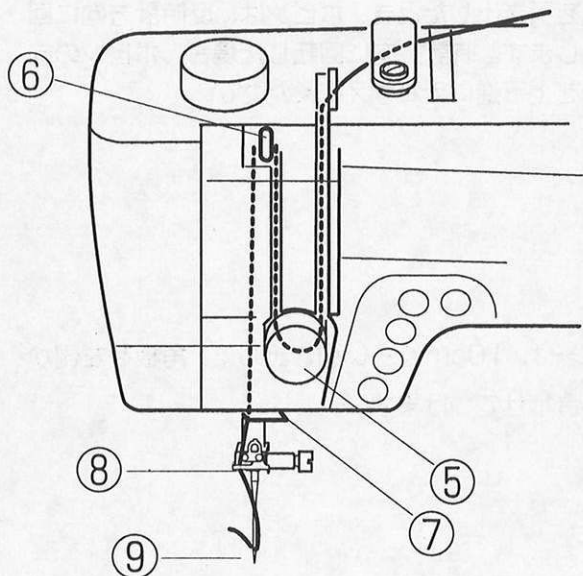
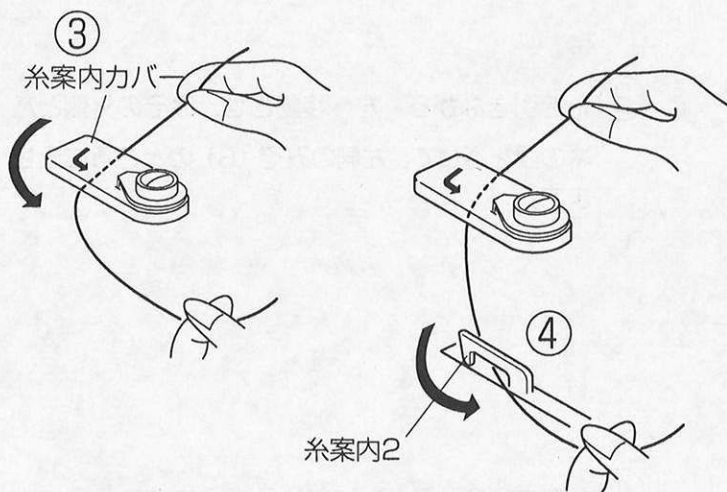
- ※ 押さえ上げは、あげておきます。
- ※ 電源を入れ、上下停針ボタンを押して針を上にあげます。  
電源スイッチを切ります。
- ※ 糸こま外れ防止のため、必ず、糸こま押さえを使用してください。
- ※ 上糸は ① ~ ⑨ の順にかけます。
- ※ ⑨ 針には、糸通しを使って通します。

① 糸こまから引き出した糸を糸掛けスタンドに通します。

② 糸案内1 にかけてます。

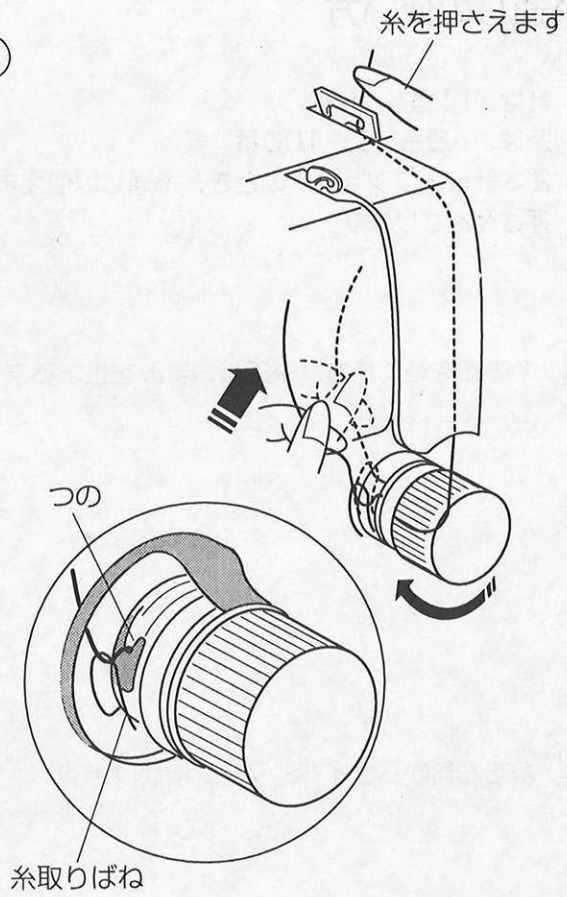
③ 糸こまからの糸を両手で持ち、下に押し込むように糸案内カバーのスキマに通します。

④ 糸案内2に糸をかけ、みぞにそって手前に糸を引き出します。





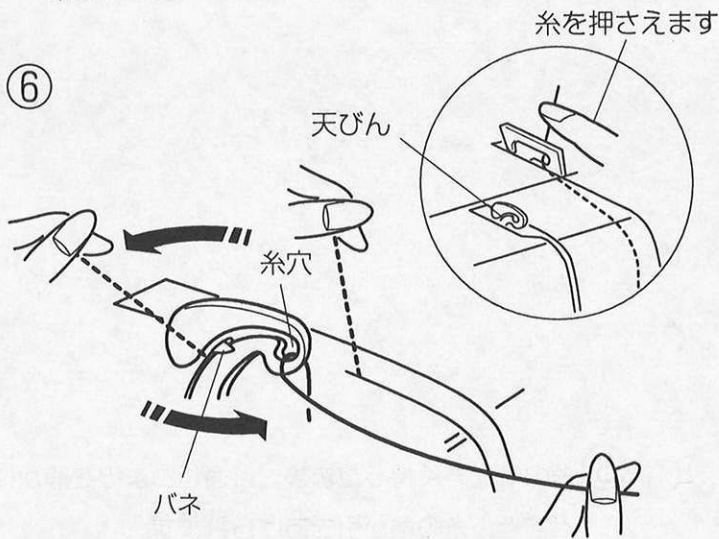
⑤



⑤

糸を指で押さえて、糸調子器の下をまわし左上に引きあげて、糸取りばねにかけます。  
 ※ 図の様に、確実につのに糸がかかっていることを確認してください。

⑥



⑥

糸を指で押さえて、天びんに右からうしろへまわし、バネを通過させて糸穴に入れ、まっすぐにおろします。

アーム糸案内

⑦

⑦

アーム糸案内に右からかけます。

⑧

針棒糸かけ

⑧

針棒糸かけに左からかけます。

⑨

糸通しを使って針に糸を通します。  
 (糸通しの使い方は、18ページをごらんください。)

## ★糸通しの使い方

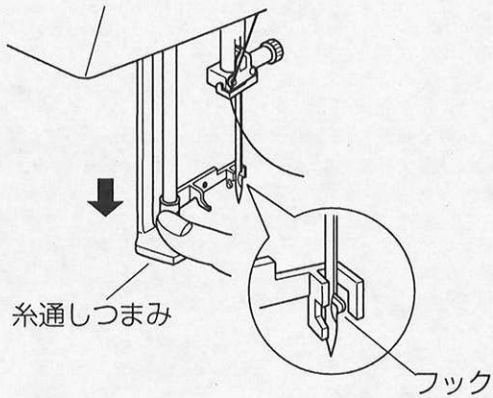
※ 針は、11番～16番

糸は、一般糸50～100番

※ 2本針（オプション）のとき、糸通しは使えません。

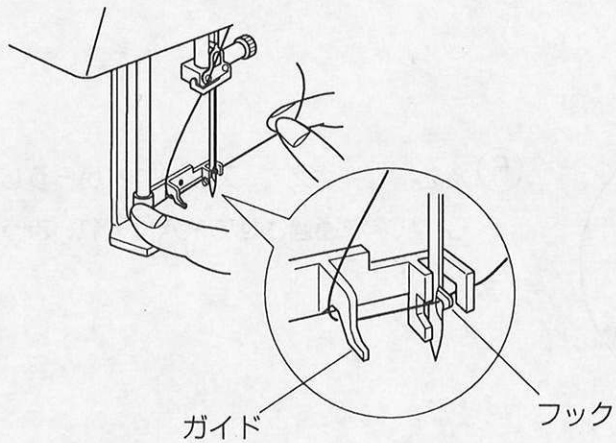
※ 押さえをさげます。

①



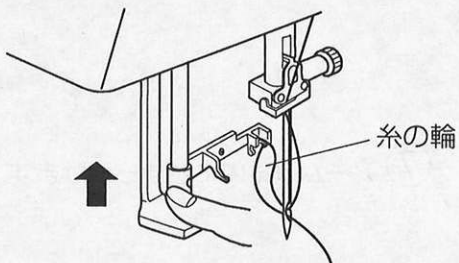
① 糸の端を軽く持ち、糸通しつまみを止まるまでいっばいにさげます。

②



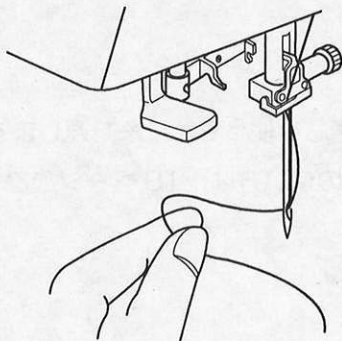
② 糸を左側からガイドとフックにかけます。

③



③ 糸の端を軽く持ったまま、糸通しつまみを静かにもどすと、糸の輪が引きあげられます。  
※ 糸の輪が出ないときは、針の付け方がよくないか、または、針が曲がっています。針の取りかえ方（20ページ）を確認ください。

④

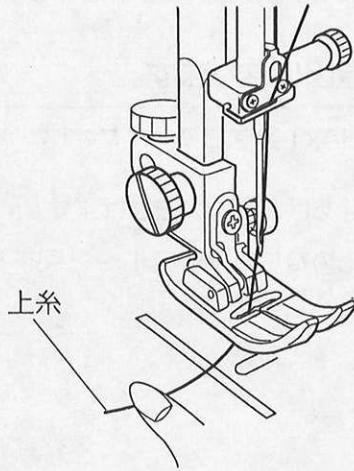


④ 糸の輪を糸通しから外し、針穴から端を引き出します。



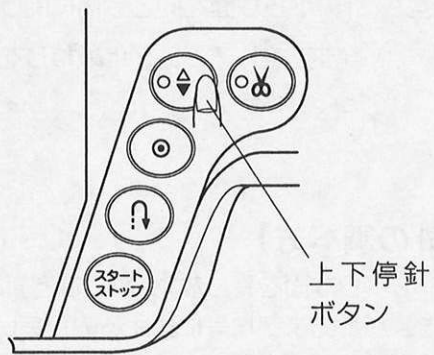
## ★下糸の引きあげ方

①

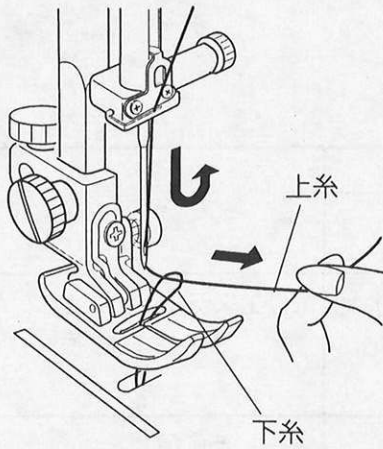


- ① 押さえをあげ、上糸の端を指で押さえておきます。

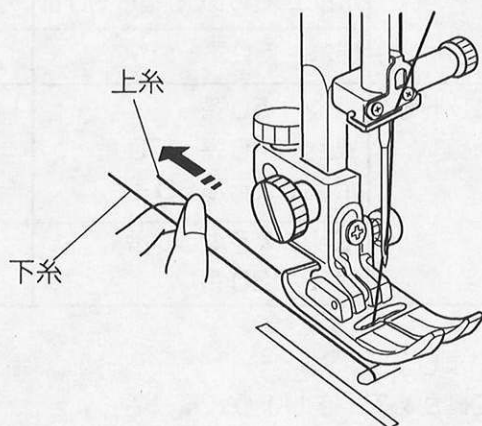
②



- ② 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを2回押して、針をあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

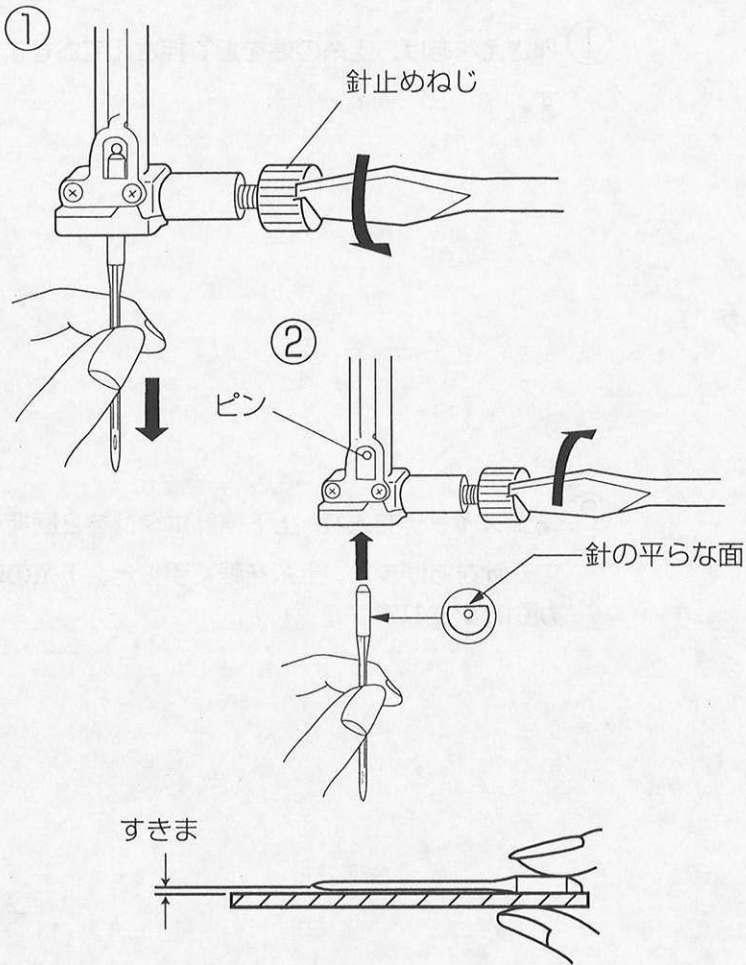


③



- ③ 上糸と下糸を押さえの下から向こう側に約10cmほど引き出して、そろえておきます。

## ●針の取りかえ方



### ⚠ 注意

針の交換は、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

けがの原因になります。

オルガンHAx1針をご使用ください。

- ① 針をあげ、押さえを下げます。  
針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
- ② 針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをねじまわしてかたくしめます。

### 【針の調べ方】

針の平らな面を平らな物(針板など)に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのが良い針です。

針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

## ●布に適した糸や針を選ぶ目安

布の厚さ	布の種類				糸	針 (HA×1)
	木綿	絹	ウール・ 化繊織物	ニット		
うすい布	ローン ボイル	シフォンジョー ゼット オーガンジー	デシン クレープ モスリン	スムーズニット地 トリコット地	ポリエステル、ナイロン 90～100番	9番～11番
普通の布	ブロード サッカー ピケ	タフタ ファイユ サテン	ジョーゼット フラノ サキソニー	ジャガード ニット地	絹糸 50番 綿糸 60番 ポリエステル60番～90番	11番～14番
					綿糸 50番	14番
厚い布	デニム キルティング ギャバジン	/	ツイード ギャバジン コート地	ダブルニット地	絹糸 50番 綿糸 40番～50番 ポリエステル60番	14番～16番
					ポリエステル30番 綿糸 30番	16番

※ 普通、上糸と下糸は同じ糸を使います。

※ うすい布には細い糸と細い針、厚い布には太い糸と太い針を使いましょう。

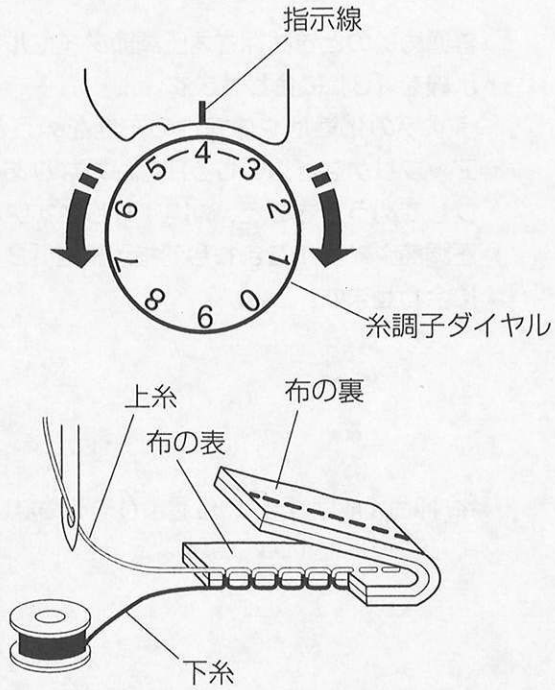
※ 針や糸は、実際にぬう布のはぎれを使って、必ず試しぬいをして確かめてみましょう。

※ ニット針 (HAx1 SP#11)は、柄の部分が青色をしています。伸縮性のある布(ニット地)や、目とびしやすい合・化繊地に効果があります。



## ●糸調子の合わせ方

【1】



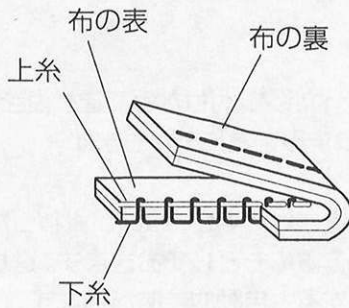
【1】 バランスのとれた糸調子

素材やぬい方によって、糸調子ダイヤルをまわして調節します。糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

※ 直線ぬいのはきは、上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

※ ジグザグぬいのはきは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

【2】

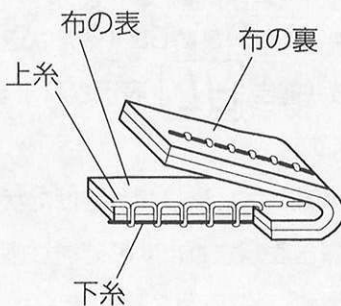


【2】 上糸が強すぎる時

下糸が布の表に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を小さくします。

【3】

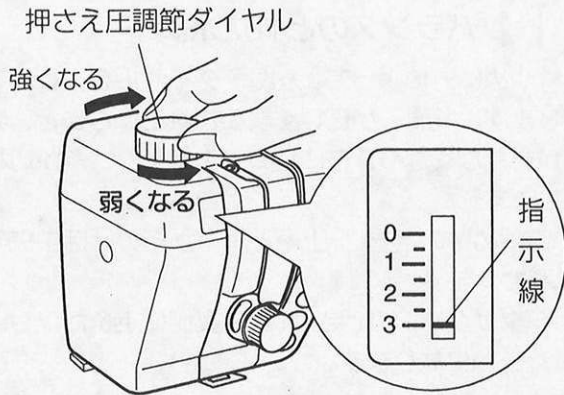


【3】 上糸が弱すぎる時

上糸が布の裏に引き出されます。

糸調子ダイヤルをまわして数値を大きくします。

## ●押さえ圧調節ダイヤルの使い方



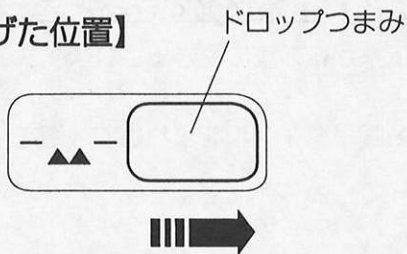
普通ぬいときは押さえ圧調節ダイヤルをまわして指示線を「3」に合わせます。

うす手の化繊地や伸縮性の布地をぬうとき、およびアップリケなどぬいしる部分が重なりあうものをカーブしてぬうときなど、ぬいずれしやすい場合は押さえ圧調節ダイヤルをまわして指示線を「2」または「1」に合わせます。

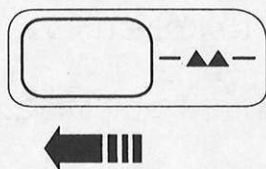
※ 押さえ圧は、「0」の位置よりゆるめないでください。故障の原因になります。

## ●送り歯のさげ方

【送り歯をさげた位置】



【送り歯をあげた位置】



しつけぬいやボタン付けなどで送り歯をさげるときは、ドロップつまみを右に動かします。

※ 送り歯をさげた場合、ぬいが終わったら、送り歯をあげる位置にもどしておきます。送り歯は、ミシンが回転すると自動的にあがります。

※ 直線ぬい (01 02), ジグザグぬい (07), 模様# 31 (31), # 62 (62) は送り歯をさげた状態でも (警告 **dl** 表示されます。) ぬうことができます。

その他の模様は、送り歯をさげた状態でスタートすると、警告表示されますので送り歯をあげてください。

# ◎実用ぬい1

## ●直線ぬい

01  
または  
02



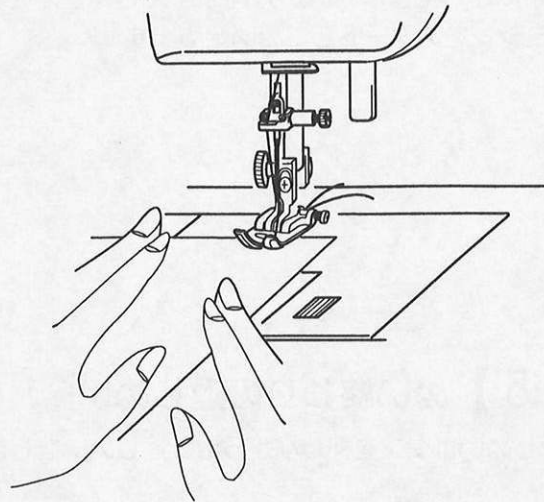
ミシンのセット

模様 ..... 01または02

押さえ ..... A:基本押さえ

糸調子 ..... 2~6

### 【1】

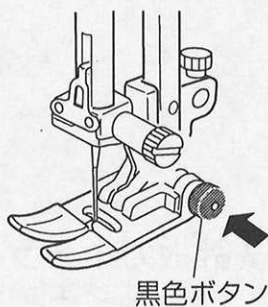
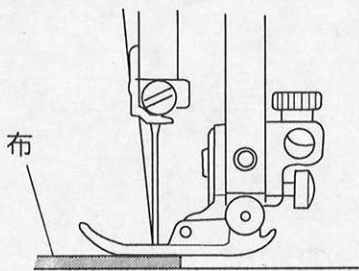


### 【1】ぬい始め

上糸と下糸を押さえの下を通し向こう側に引き出し、押さえをさげてぬい始めます。

※ F:サテン押さえとR:オートマチックボタン  
ホール押さえのぬい始めの上糸下糸は、横に引き出しておきます。

### 【2】



### 【2】厚手の布端のぬい始め

ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押しこみます。

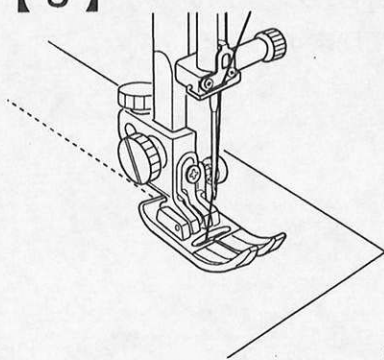
ボタンを押したままで押さえをさげます。

ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

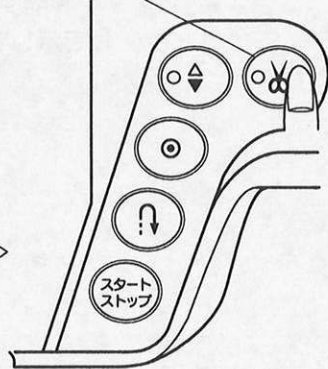
押さえが完全に布の上になると、黒色ボタンの押しこみは自動的に解除されます。

※ 布厚は、0.6cmまでの物を使用してください。  
0.6cm以上の物をぬったりすると針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。

### 【3】

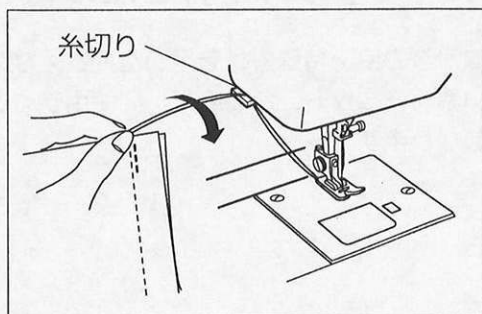


糸切りボタン



### 【3】ぬい終わり

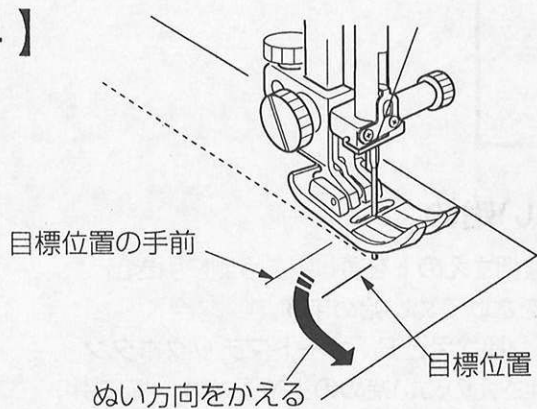
ミシンを止め、糸切りボタンを押して糸を切ります。



※ 30番より太い糸または、特殊糸を切るときには  
面板に付いている糸切りを使用してください。  
布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。



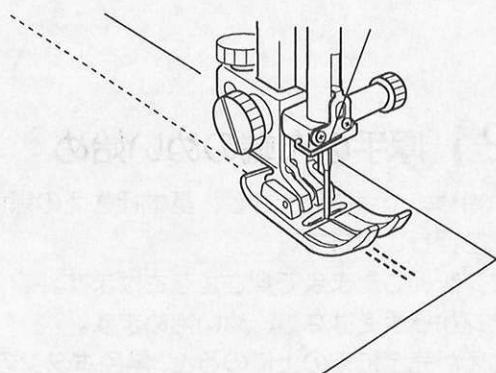
## 【4】



## 【4】ぬい方向をかえるには


目標位置の手前でミシンを止め、上下停針ボタンで目標位置までぬって針を布にさし、押さえをあげます。針を布にさしたまま、ぬい方向をかえて押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬい始めます。

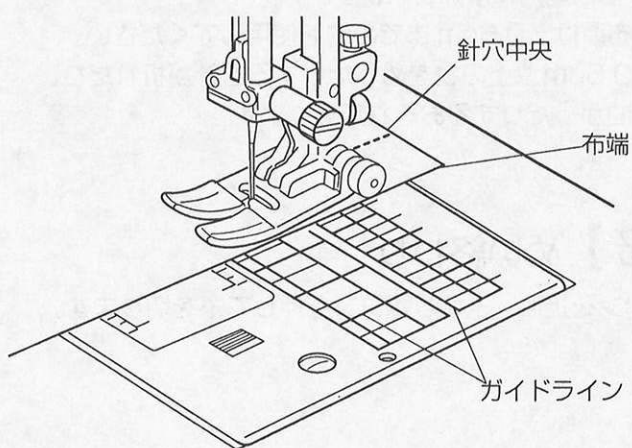
## 【5】



## 【5】ぬい終わりの返しぬい

返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。

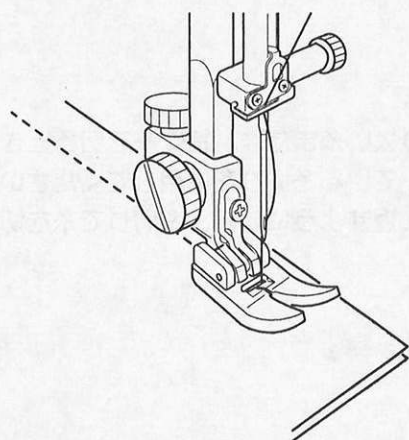
※ 模様03  のぬい終わりには、返しぬいボタンを1度押すと、数針返しぬいをして自動的に止まります。



## ★針板ガイドラインの利用

布端を針板のガイドラインに合わせてぬいます。


※ ガイドラインの数字は、針穴中央からガイドラインまでの間隔を「ミリメートル」または、「インチ」で示しています。



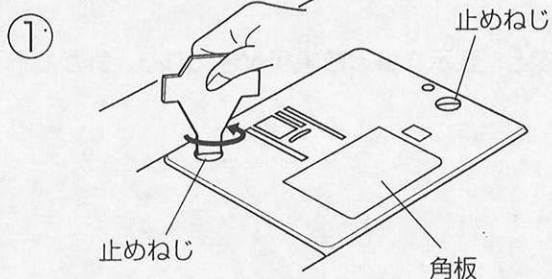
## ★ウルトラグライド押さえの利用

非常に滑りの良い特殊素材を用いた押さえなので、滑りの悪い素材（ニット、合成皮革）に使用するときれいにぬいあがります。

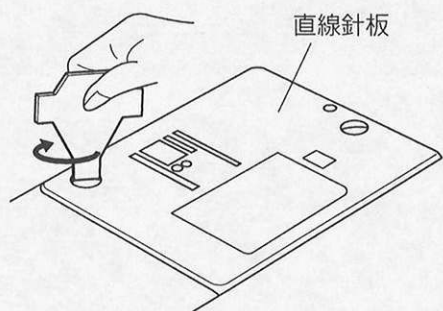
## ★直線針板の利用

01 — ⊕		<p>ミシンのセット</p> <p>模様 ..... 01</p> <p>押さえ ..... H直線押さえ</p> <p>糸調子 ..... 2～6</p>
--------------	---	--

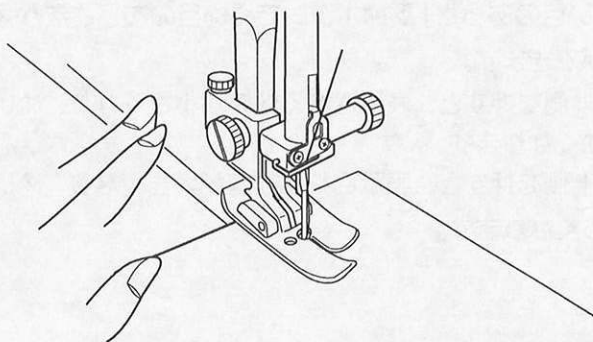
### 【1】



### ②



### 【2】



### 【1】 直線針板の取り付け

#### ⚠ 注意

針板を取りかえるときには、必ず、電源スイッチを切ってから取りかえてください。

**けがの原因になります。**

① 止めねじ2ヶを外し、針板を外します。

② 角板を直線針板に取り付け、止めねじで直線針板を取り付けます。

### 【2】 むい

直線押さえを取り付けます。

#### ⚠ 注意

直線押さえを使用するときには、必ず、針が押さえにあたらないことを確認してください。

**けがの原因になります。**

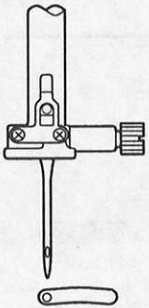
## ★直線模様の針落ちの変更／ぬい目のあらかの合わせ方

【1】

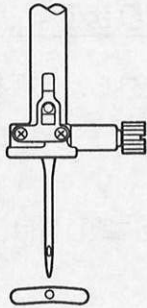
3.5



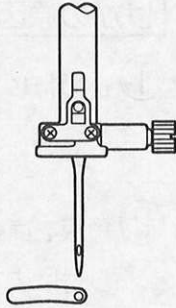
0.0



3.5



7.0



### 【1】直線模様の針落ち位置をかえるとき

「ぬい目の幅」調節ボタンで針落ち位置をかえることができます。

「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、針が左へ移動します。

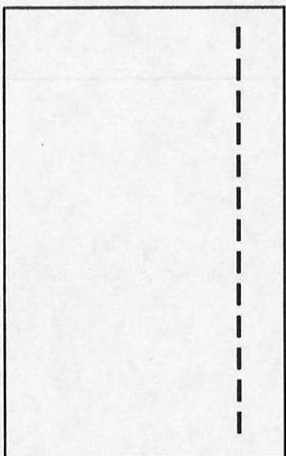
「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、針が右へ移動します。

【2】

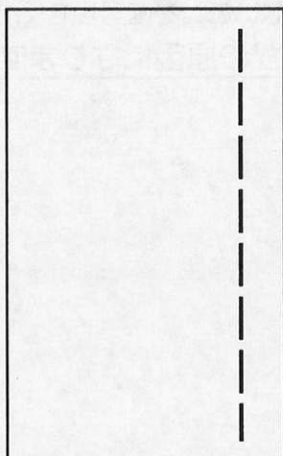
2.2



1.0



5.0



### 【2】ぬい目のあらかをかえるとき


「ぬい目のあらか」調節ボタンでぬい目のあらかをかえることができます。


「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が細くなります。

「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目があらかくなります。



## 【1】

02  




ミシンのセット  
模様 ..... 0 2  
押さえ ..... A:基本押さえ  
糸調子 ..... 2~6





## ★その他の直線状模様

### 【1】 直線ぬい

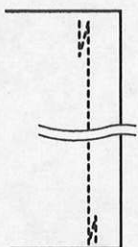
端ぬいに使用します。

## 【2】

03  




ミシンのセット  
模様 ..... 0 3  
押さえ ..... A:基本押さえ  
糸調子 ..... 2~6



### 【2】 自動返しぬい

しっかりしたほつれ止めを自動的に行うときに使用します。

(スタート・ストップボタン使用時)

ぬい終わりにきたら、ミシンを止め、返しぬいボタンを1度押します。数針返しぬいをして自動的に止まります。


ミシンを止めないときも返しぬいボタンを1度押すと、数針返しぬいをして自動的に止まります。


(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりにきたら、返しぬいボタンを1度押します。

数針返しぬいをして自動的に止まります。

## 【3】

04  





ミシンのセット  
模様 ..... 0 4  
押さえ ..... A:基本押さえ  
糸調子 ..... 2~6




### 【3】 三重ぬい

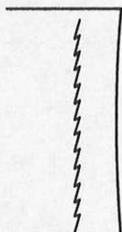
伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

## 【4】

05  




ミシンのセット  
模様 ..... 0 5  
押さえ ..... A:基本押さえ  
糸調子 ..... 3~6



### 【4】 伸縮ぬい

布が伸びても糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。

# ●しつけぬい

06

中

06

ミシンのセット

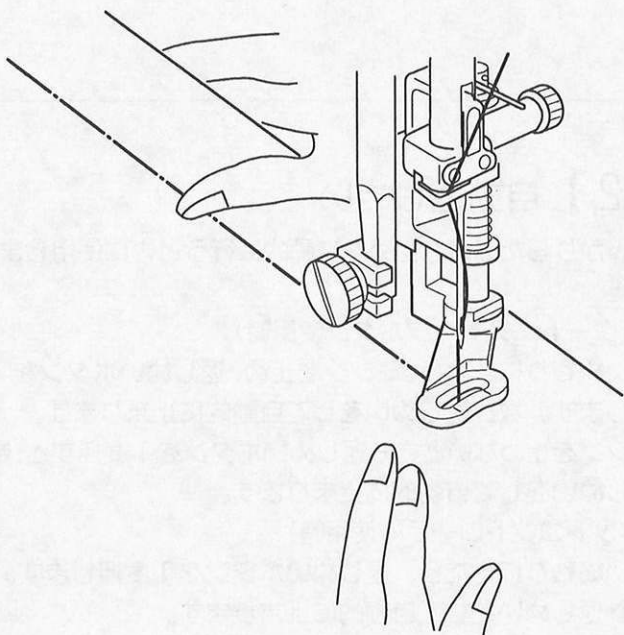
模様 ..... 06

押さえ ..... Q: フリーキルト押さえ

糸調子 ..... 1~3

※送り歯をさげてください。(22ページをごらんください。)

※押さえ圧調節ダイヤルを「1」に合わせます。(22ページをごらんください。)

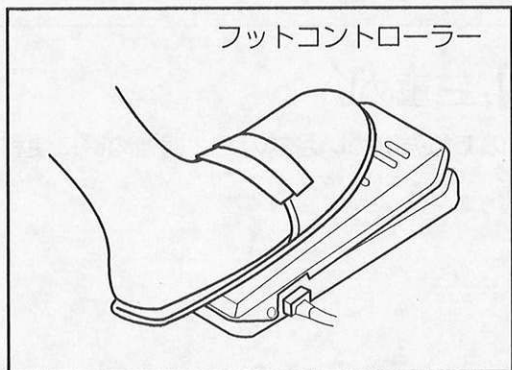


布を前後にピンと張ってぬいます。

1針ぬって針が止まったら、ぬい目をつまんで布を向こう側に引きます。

※フットコントローラーを使用すると、両手が使えて便利です。

フットコントローラー



# ジグザグぬい

07



07

ミシンのセット

模様 ..... 07

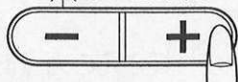
押さえ ..... A: 基本押さえ

糸調子 ..... 3~7

## 【1】

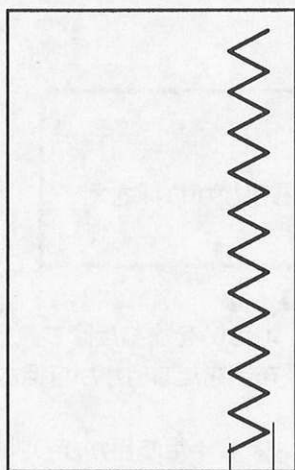
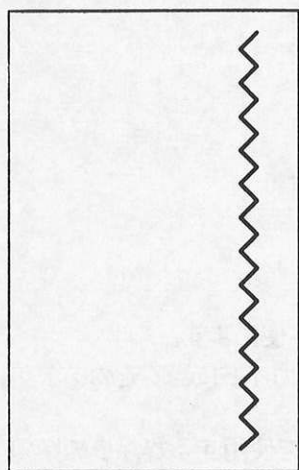
5.0

ぬい目の幅



2.0

7.0



幅

## 【1】ぬい目の幅変更

「ぬい目の幅」調節ボタン「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の幅はせまくなります。

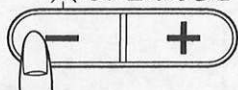
「ぬい目の幅」調節ボタン「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の幅は広くなります。

ぬい中でも調節できます。

## 【2】

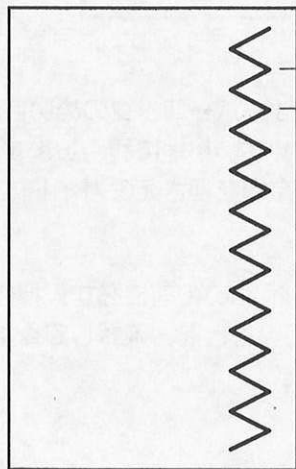
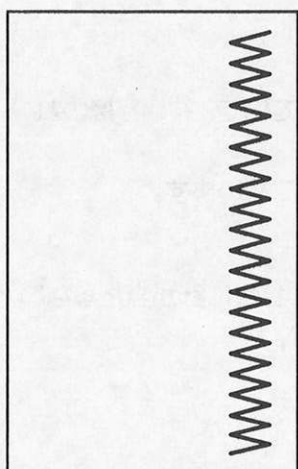
2.0

ぬい目のあかさ



1.0

5.0



あかさ

## 【2】ぬい目のあかさ変更

「ぬい目のあかさ」調節ボタン「-」側を押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目のあかが細くなります。

「ぬい目のあかさ」調節ボタン「+」側を押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目のあかがあらかくなります。

ぬい中でも調節できます。

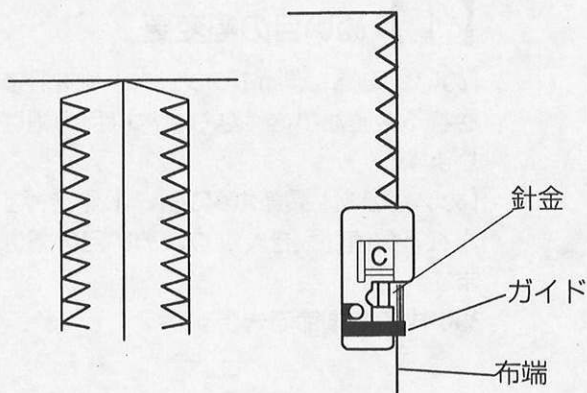


# ●たち目かがり

07

07

ミシンのセット  
 模様 ..... 07  
 押さえ ..... C: たち目かがり押さえ  
 糸調子 ..... 3~7



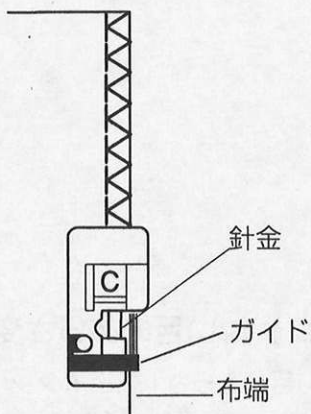
※ めい目の幅は、5.0~7.0の間でぬいます。  
 ※ めいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらないことを、確認してください。

布端をたち目かがり押さえのガイドに当ててぬいます。  
 布端のほつれ止めとして広く利用します。

09

09

ミシンのセット  
 模様 ..... 09  
 押さえ ..... C: たち目かがり押さえ  
 糸調子 ..... 3~7



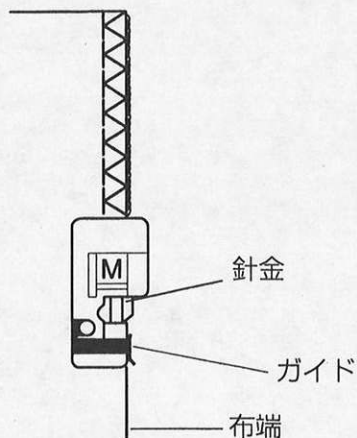
地ぬいをかねたほつれ止めに使います。  
 布端をたち目かがり押さえのガイドに当ててぬいます。

※ C: たち目かがり押さえを使用するかがりぬい  
 のときは、めい目の幅を5.0~7.0の間でぬいま  
 す。  
 ※ めいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらない  
 ことを、確認してください。

12

12

ミシンのセット  
 模様 ..... 12  
 押さえ ..... M: 縁かがり押さえ  
 糸調子 ..... 6~8



オーバーロックのめい目に似ていて、布端がほつれ  
 やすい布地に利用します。  
 布端を押さえのガイドに当ててぬいます。

※ めいの前に必ず、押さえの針金に針が当たらない  
 ことを、確認してください。

## ●トリコットぬい

08  
W  
M

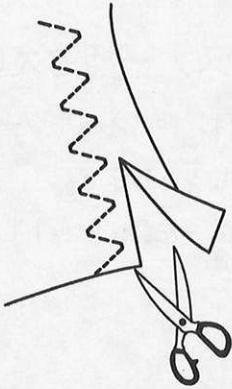


ミシンのセット

模様 ..... 08

押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 3~6



ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、布端の反り防止などに利用します。

ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

## ●ニットステッチ

11  
E  
E  
E

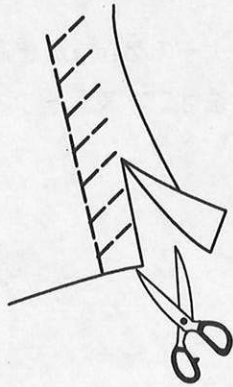


ミシンのセット

模様 ..... 11

押さえ ..... A: 基本押さえ

糸調子 ..... 3~6



ニット地のかがりぬいに利用します。

ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目近くで切り落とします。

# ●ファスナー付け

01  
—  
中



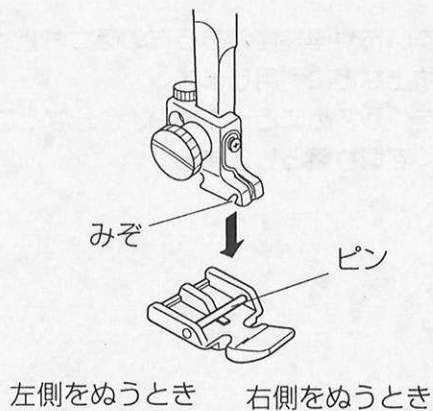
ミシンのセット

模様 ..... 01 (モード1)

押さえ ..... E: ファスナー押さえ

糸調子 ..... 2~6

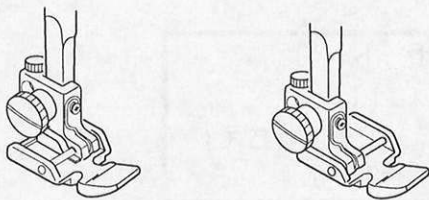
## 【1】



## 【1】 ファスナー押さえの付け方

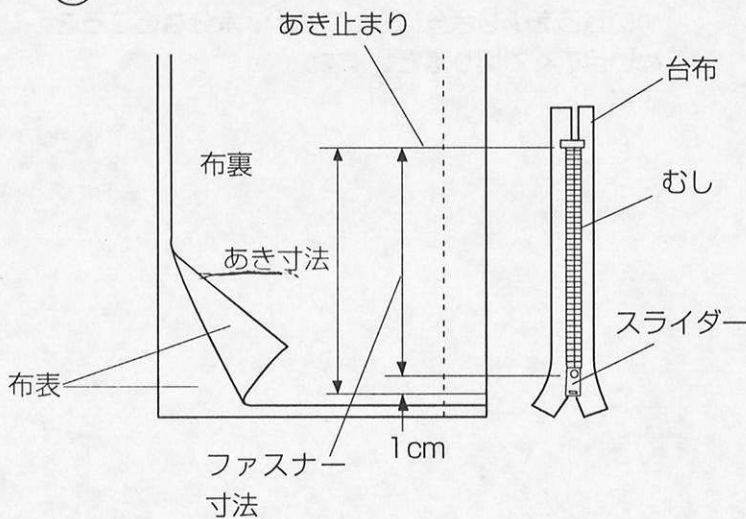
左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンを合わせて右側にセットします。

右側をぬうときは、左側にセットします。



## 【2】

①

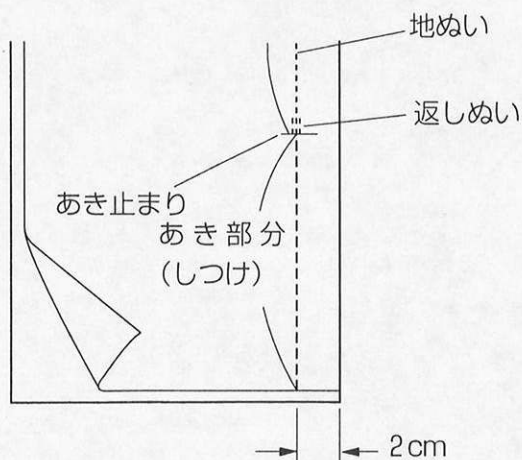


## 【2】 準備 (例：左脇あきのぬい方)

① ファスナーのあき寸法を確かめます。

あき寸法はファスナー寸法に1 cm プラスした寸法です。

②



② 仮ぬいのしつけと地ぬいをします。

布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。

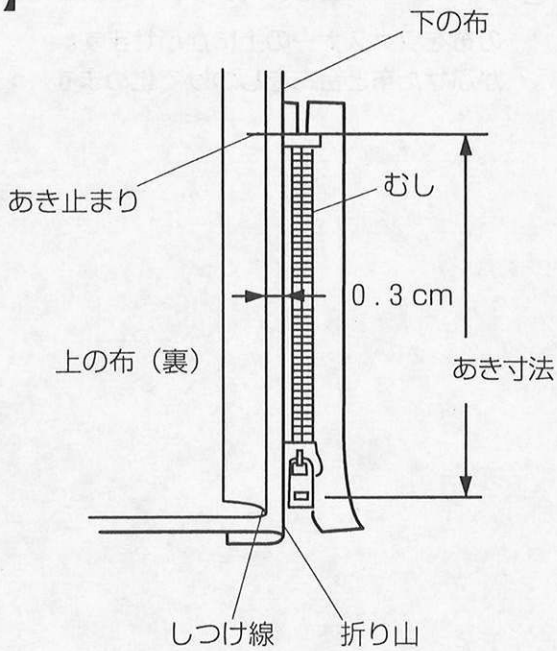
あき部分は、ぬい目のあかさ0.5 cmでしつけをします。

※ しつけは、ほどこきやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。



### 【3】

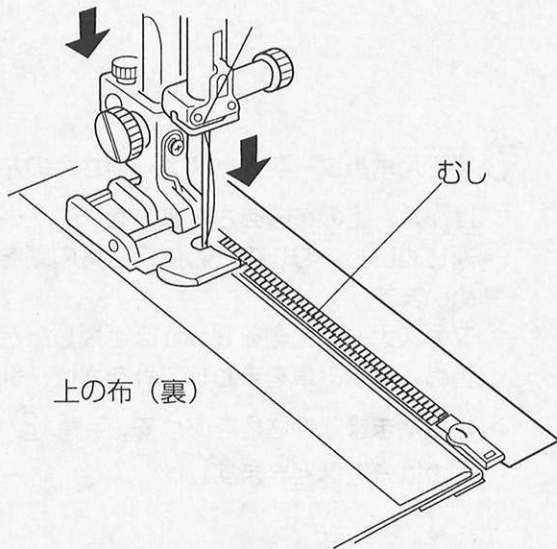
③



### 【3】ぬい方

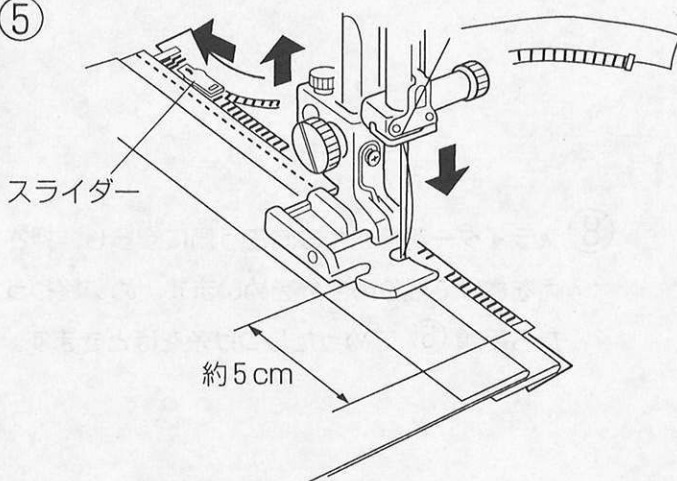
- ③ めいしろを割り、下の布のめいしろを0.3 cm 出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

④



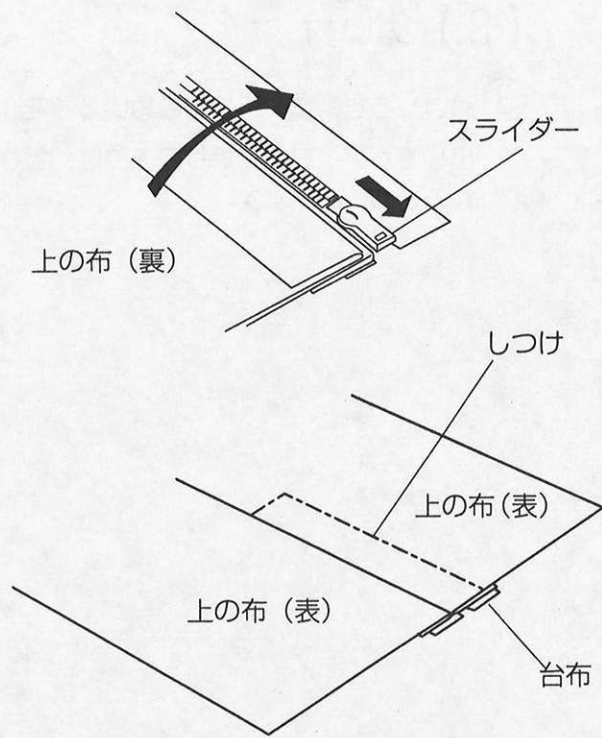
- ④ 押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。

⑤



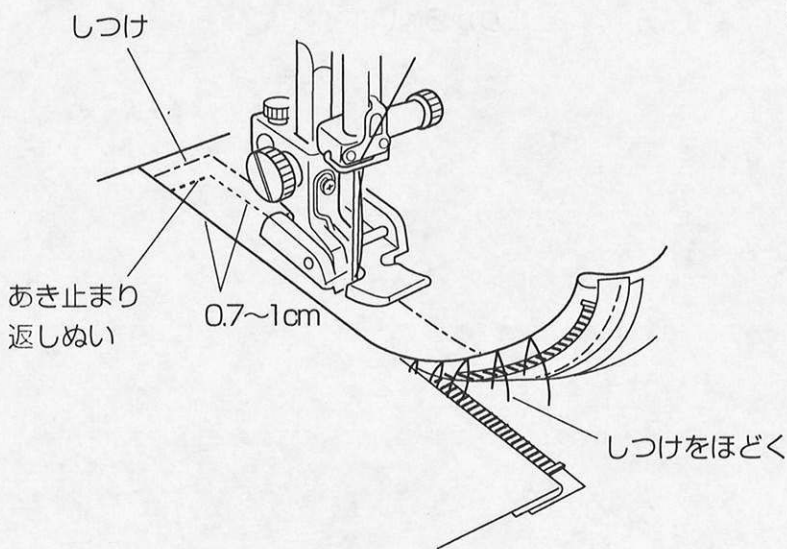
- ⑤ ファスナーの端から約5 cmほど手前でミシンを止め、針を布にさします。押さえをあげてスライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

⑥



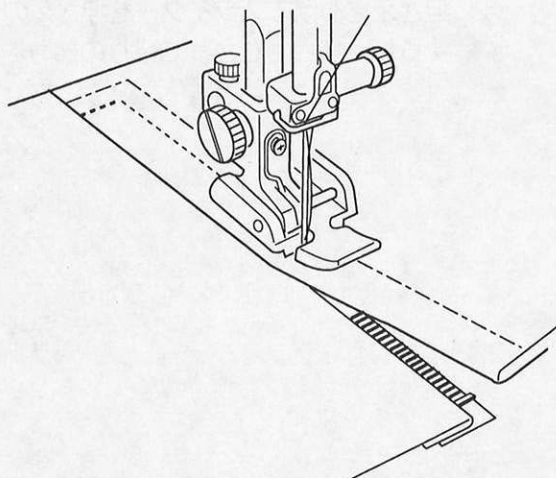
⑥ ファスナーをとじ、スライダーを上にあたおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。かぶせた布と台布をしつけで止めます。

⑦



⑦ 押さえホルダーをファスナー押さえの左側につけかえ、上の布のあき止まりを(0.7~1cm)返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。ファスナーの上側を5cmほど残したところで止め、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押さえをあげて、手順②でぬったしつけ糸をほどきます。

⑧



⑧ スライダーを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。ぬい終わったら手順⑥でぬったしつけ糸をほどきます。

## ●三つ巻きぬい

01  
—  
中

01

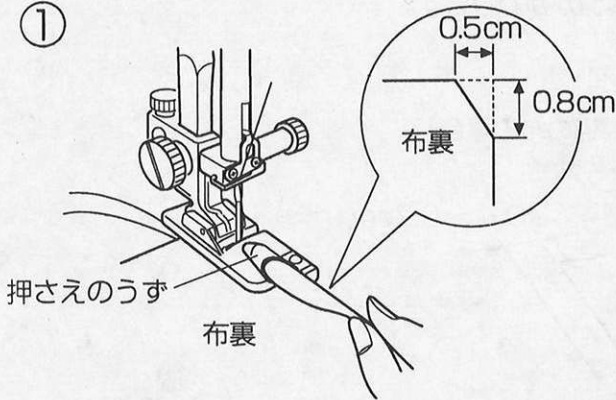
ミシンのセット

模様 ..... 01

押さえ ..... D: 三つ巻き押さえ

糸調子 ..... 2~6

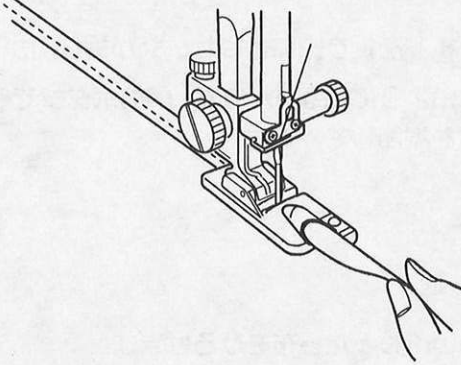
①



①

布を巻き込みやすくするため角を少し切り、押さえのうずの中に布を針にとどくところまで入れて、針をさして押さえをさげます。

②



②

上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、手ではずみ車を手前に3~4回まわします。正しく巻き込まれたら、親指と人さし指で布をつまみ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ち上げながらぬいます。

## ●シェルタック

15  
E

15

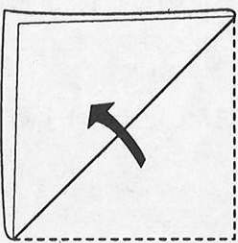
ミシンのセット

模様 ..... 15

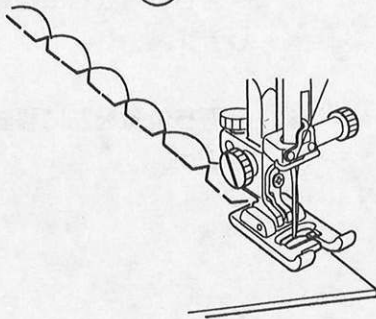
押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 6~8

①



②



①

布をバイヤスに2つ折りにします。

②

右の針落ちが布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。



# ●くけぬい (まつりぬい)

13 } または 14 }

13

ミシンのセット

模様 ..... 13

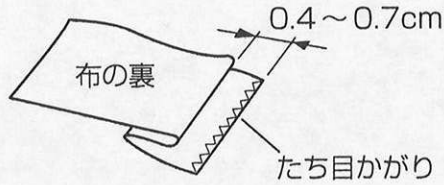
押さえ ..... G: くけぬい (まつりぬい) 押さえ

糸調子 ..... 1~4

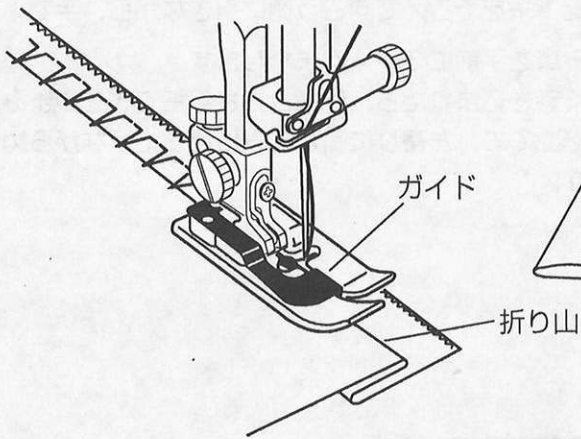
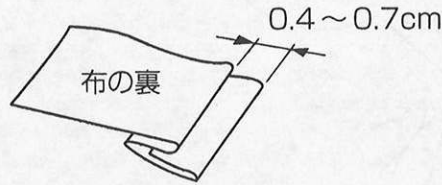
※伸縮性のある布をぬうときは、模様# 14 を選びます。  
 ※模様# 13、# 14 は、ぬい目の幅は変化せず、ガイドからの針落ち位置がわかります。

## 【布の折り方】

(厚い布の場合)



(うすい布、普通の布の場合)



① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山から外れないように「ぬい目の幅」調節ボタンで針落ち位置を調節してぬいます。

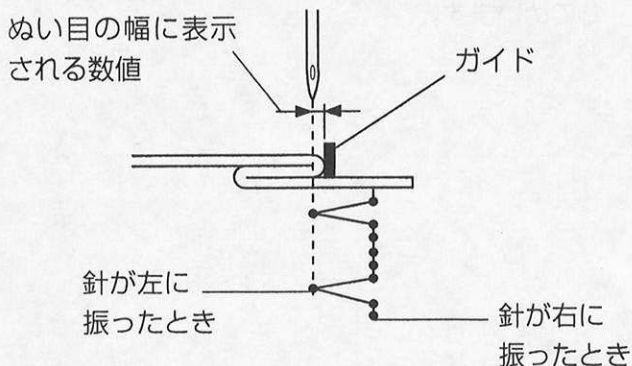
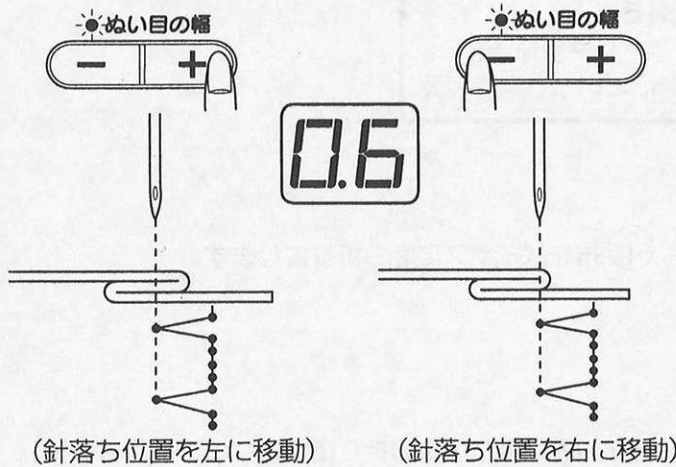
② ぬい終わったら布をひろげます。

## 【針落ち位置をかえたいとき】

「ぬい目の幅」調節ボタンを押します。  
 ぬい目の幅表示部の数値は、G: くけぬい押さえのガイドと、左側ぬい目との距離を示します。





※ 針落ち位置を右に移動させたいとき「-」側を押します。

※ 針落ち位置を左に移動させたいとき「+」側を押します。



# ◎実用ぬい2

## ●ボタンホールの種類と用途

<p>16</p> 	<p>スクエアボタンホール（センサー）</p> <p>中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。 センサーボタンホールは使用されるボタンの大きさに合わせて自動的に ボタンホールの大きさを決定してぬい上げます。</p>
<p>17</p> <p>オート</p> 	<p>スクエアボタンホール（オート）</p> <p>中厚物から厚物まで一般的な使用目的のボタンホールです。 オートボタンホールはボタンホールの長さを自由に決めることができ、一度決めた長さを記憶することにより、自動的に何度も同じ大きさのボタンホールをぬうことができます。</p>
<p>18</p> 	<p>キーホールボタンホール（センサー）</p> <p>中厚物から厚物の素材で使われる一般的なボタンホールです。 大きく厚めのボタンはキーホールボタンホールがよく使われます。</p>
<p>19</p> 	<p>ニットボタンホール（センサー）</p> <p>ニットに適したボタンホールです。また、そのぬい目の形から飾りボタンホールとしても使えます。</p>

- ※ # 16、# 18、19はセンサーボタンホールです。
- ※ ボタンホールの長さは、使用するボタンをボタン受け台にはさみ込むと決まります。
- ※ ボタンの直径 1.0～2.5 cm まで、ボタンホールができます。
- ※ ボタンホール幅は、シャツなどのボタン穴の幅に自動セットされています。
- ※ 伸縮性のある布には、裏に伸びにくい芯地を貼ります。
- ※ 必ず、試しぬいをして正しくぬえることを確認してください。
- ※ ぬい終わりに自動糸切りがセットされます。

## ●センサーボタンホール

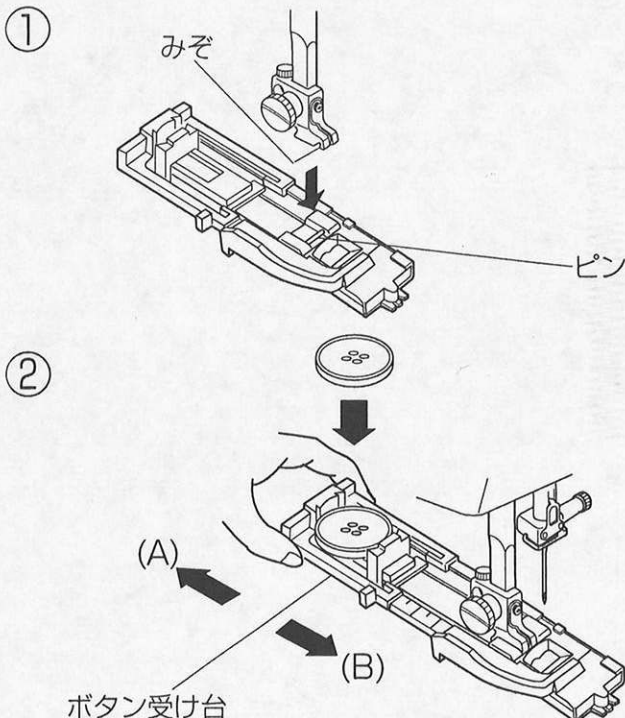
16



16

ミシンのセット  
 模様 ..... 16  
 押さえ ..... R: オートマチックボタンホール押さえ  
 糸調子 ..... 1～5

### ★スクエアボタンホール



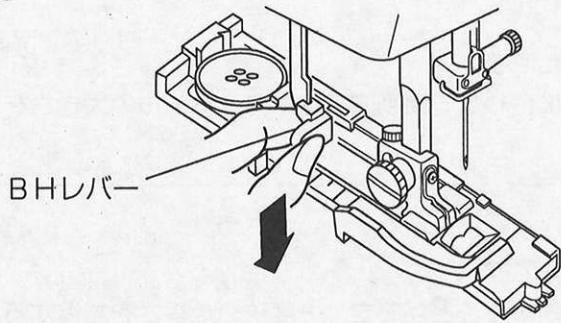
① 上下停針ボタンを押して針をあげ、押さえをあげます。  
 押さえホルダーのみぞと押さえのピンを合わせ、押さえをさげてセットします。

② ボタン受け台を (A) の方向へ引き、ボタンを乗せて (B) 方向にもどしてはさみ込みます。

※ ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。



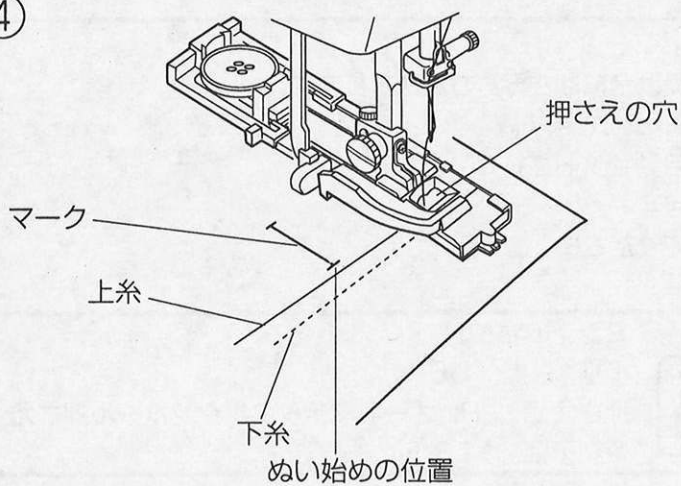
③



③ BHレバーを止まるまでいっばいに引きさげます。

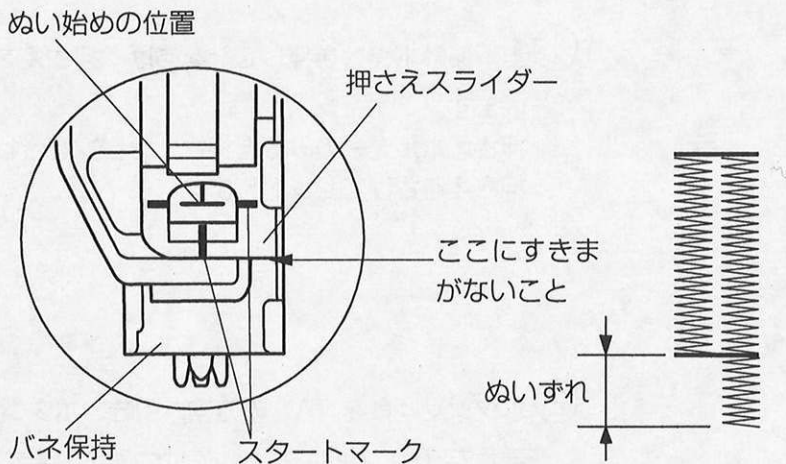
※ BHレバーをさげないでボタンホールを0.5 cmぬうと **bl** 表示され、ミシンが止まります。  
BHレバーを引きさげて再スタートします。

④



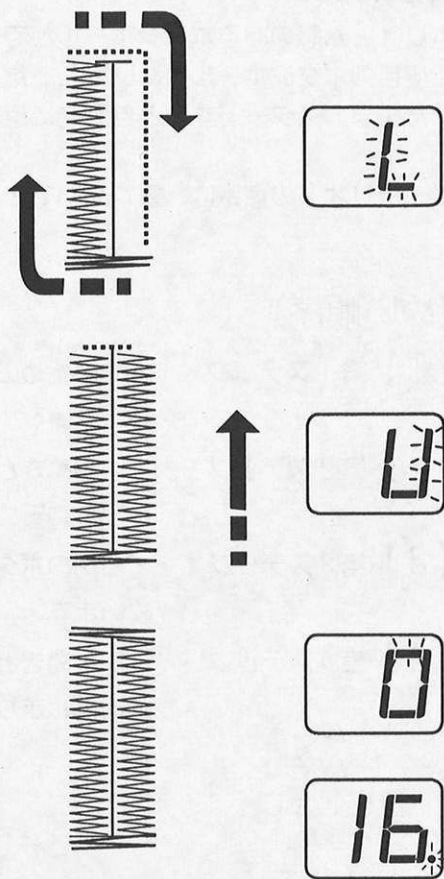
④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。布を入れ、押さえのスタートマークとぬい始めの位置を合わせ、針をさして押さえをさげます。

※ ぬい始めに、押さえスライダとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。すきまがあるとぬい終わったときぬいずれがおこることがあります。





⑤

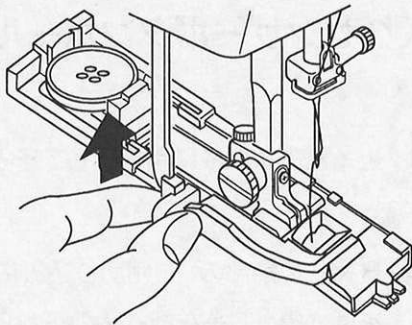


⑤ ミシンをスタートさせます。

ボタンホールをぬい終わったところで、自動的に糸切りして止まります。

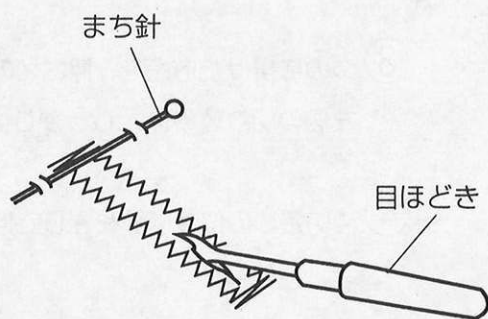
※ 引き続きセンサーボタンホールをする場合、押さえをあげます。  
別の場所にそのままの状態ですえをおろしスタートします。

⑥

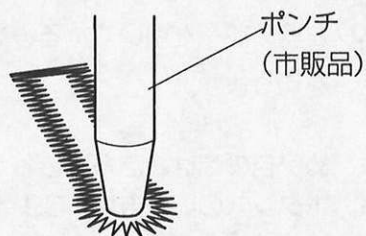


⑥ ぬい終わったら、BHレバーを止まるまでいっぱいに押しあげてもどしてください。

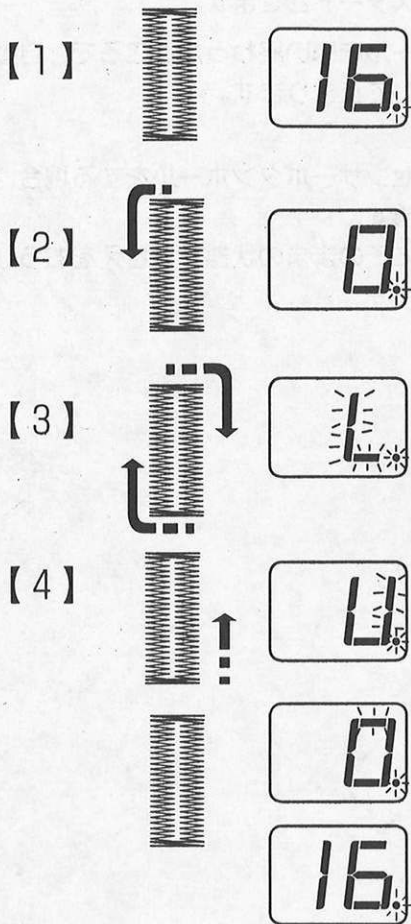
⑦



⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかかった糸を切らないように切り開きます。



※ キーホールボタンホールのときは、ポンチ（市販品）で穴をあけてから目ほどきで切り開きます。



### ★重ねぬい

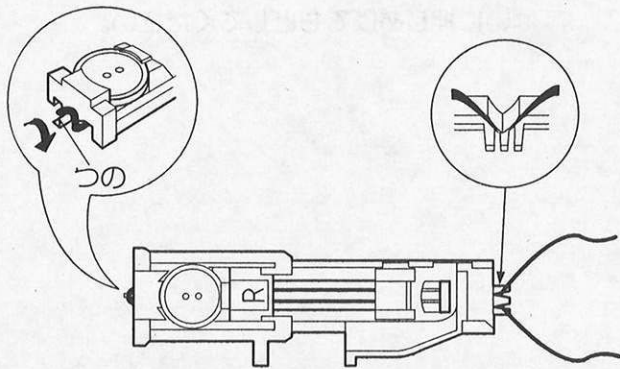
ボリューム感のあるボタンホールができます。  
1度目のボタンホールをぬい終わったら、押さえ上げをさげたまま、スタートすると自動的に重ねぬいをします。

※ ピリオドの点滅は、重ねぬいできる状態を示します。

#### (ぬい順序)

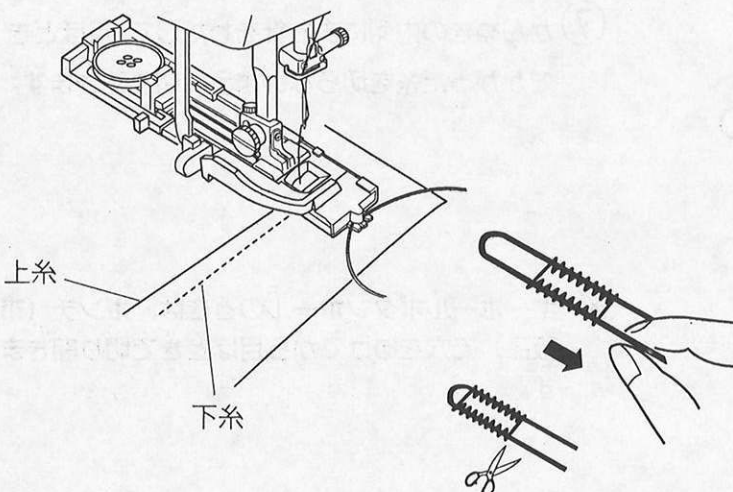
- 【1】 第1ステップ・・・ぬい始めの位置まで下ぬいをします。
- 【2】 第2ステップ・・・かんぬきと左側のボタンホールを重ねてぬいます。
- 【3】 第3ステップ・・・右側のボタンホールを重ねてぬいます。
- 【4】 第4ステップ・・・かんぬきと止めぬいをして自動的に止まります。

### ★芯入りセンサーボタンホール



- ① 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。
- ② R押さえ前部の、右側切り込みに芯糸の一方の端をはさみ、芯糸を押さえの下から後ろに引き、輪にしてつのに掛けます。
- ③ つのに掛けた芯糸を、押さえの下を通して、前部左側の切り込みに、しっかりはさみます。
- ④ ぬい始めの位置に針をさして押さえ上げをさげます。
- ⑤ ボタンホールをぬいます。
- ⑥ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

※ ぬい目の幅は、芯糸に合わせてセットします。  
※ ボタン穴の開け方は、39ページをご覧ください。



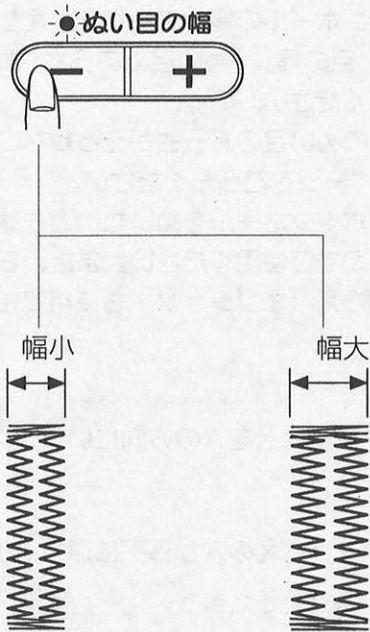
## ★ボタンホールの幅をかえるとき

ぬい目の幅調節ボタンで調節します。

「+」を押すと幅は広くなります。

「-」を押すと幅は狭くなります。

5.0



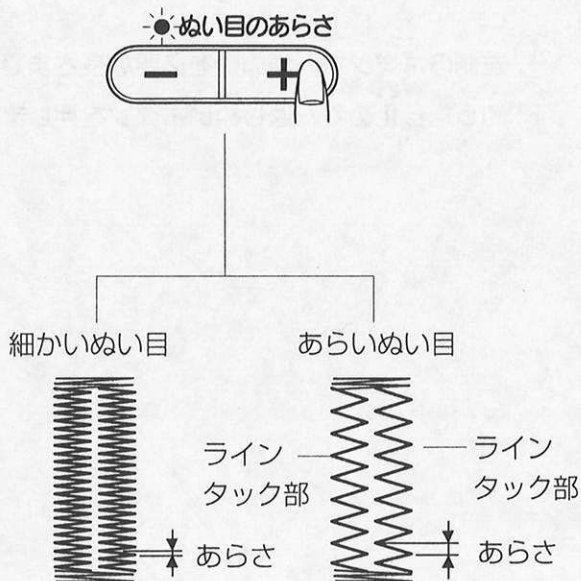
## ★ぬい目のあらしをかえるとき

ぬい目のあらし調節ボタンで調節します。

「+」を押すとあらしはあらかくなります。

「-」を押すとあらしは細かくなります。

0.4



※ 試しぬいをスタートしてからボタンホール幅、あらしをかえたい場合、ラインタック部で止めてから行ってください。

※ 電源を切ったときや、他の模様を選択したとき、ボタンホール幅、送りのセットはキャンセルされます。



# ●オートボタンホール

17  
オート

17

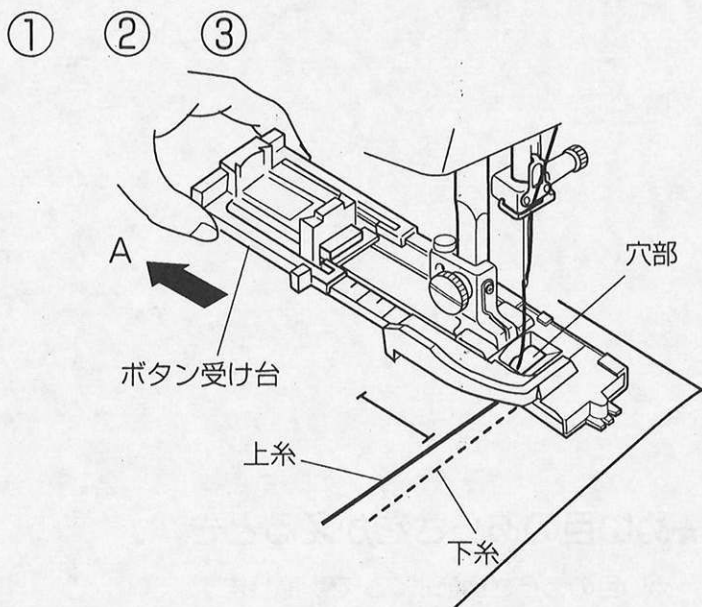
ミシンのセット

模様 ..... 17

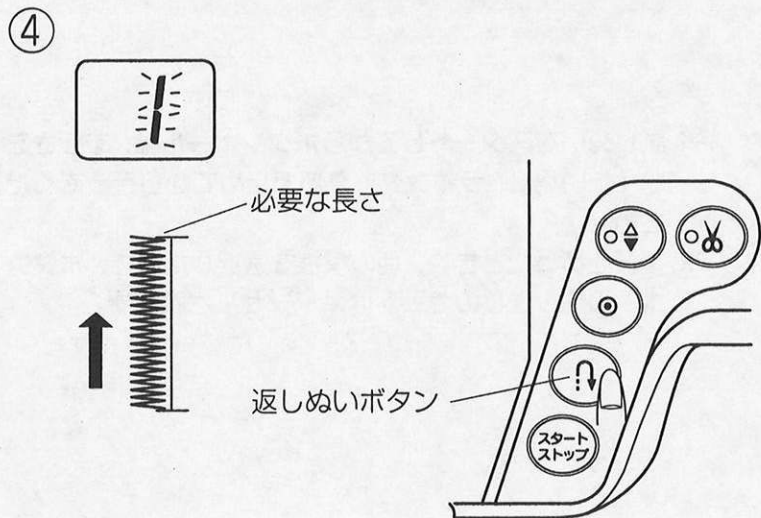
押さえ ..... R: オートマチックボタンホール押さえ

糸調子 ..... 1~5

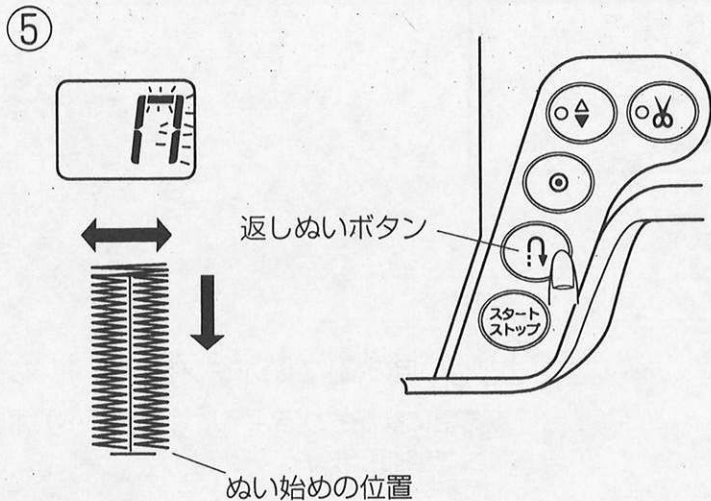
- ※ ボタンホールの幅やあらさをかえたいときは、「ぬい目の幅」、「ぬい目のあらさ」調節ボタンを押してください。
- ※ 左右のぬい目のあらさがそろわないときは、60ページをごらんください。
- ※ 長いボタンホールをぬいたいときは、F：サテン押さえをご使用ください。また、B：ボタンホール押さえ（オプション）も使用できます。



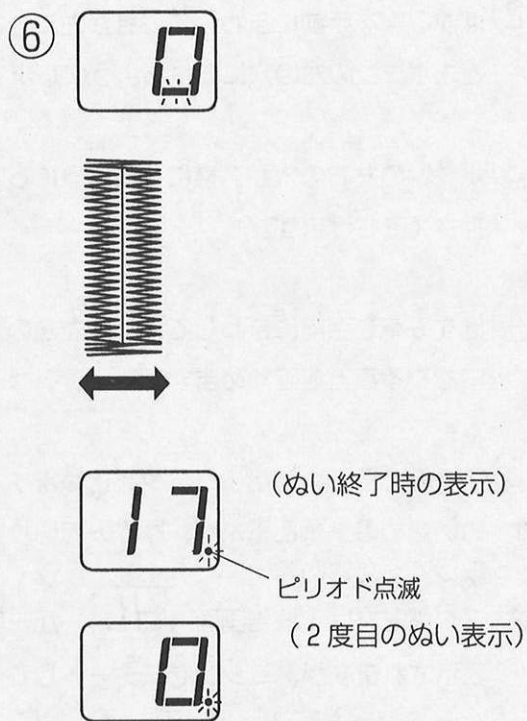
- ① ボタン受け台をAの方向にいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さを下げます。



- ④ 左側のボタンホールぬいを必要な長さまでぬったら止めて、返しぬいボタンを押します。



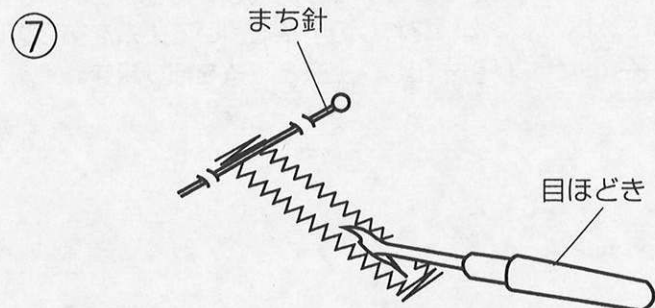
⑤ かんぬきと右側をぬい、ぬい始めの位置にもどったら止めて、返しぬいボタンを押します。



⑥ かんぬきと止めぬいをし、自動的に止まるまでぬいます。

### 【引き続きオートボタンホールをするとき／しないとき】

- ※ ミシンは、1度ぬったボタンホールの大きさを記憶しています。2度目からは、同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。(2度目のぬいのときには、ぬい目あさはかえられません。)
- ※ ミシンをスタートすると同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。
- ※ 異なる大きさのボタンホールをぬうときには記憶ボタンを押し、ピリオドを消してから手順③～⑥を行って新しい大きさを記憶します。



⑦ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。

# ●ボタン付け

07  
MM

07

ミシンのセット

模様 ..... 07

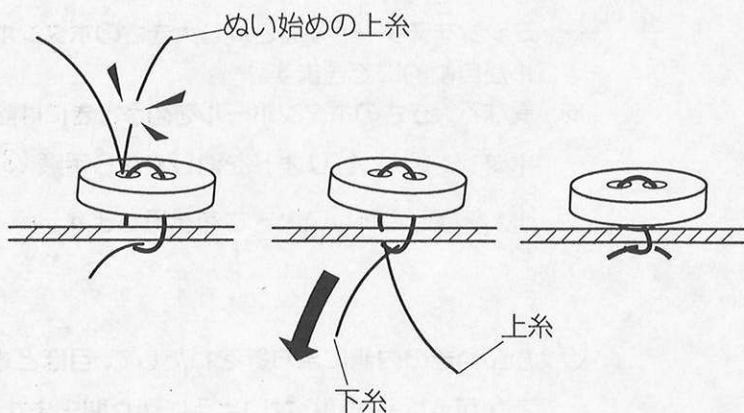
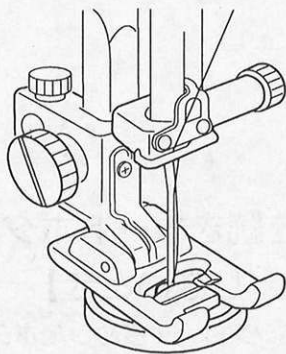
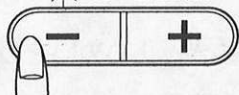
押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 3~7

※送り歯をさげます。  
(22ページをごらんください。)

5.0

ぬい目の幅



- ① 「ぬい目の幅」調節ボタンを押し、ボタン穴の幅に針がおりるように「-」、「+」ボタンで調節します。
- ② はずみ車を手前にまわして、針が左にきたときボタンの左の穴におりるようにします。
- ③ ボタンの左右の穴が真横にくるようにして押さえをさげます。
- ④ はずみ車を手前にまわして、針が左右の穴におりることを確かめます。
- ⑤ 10針くらいぬったらミシンを止めます。  
※ ぬい始めの上糸と下糸は、はさみで切り取ってください。  
※ 送り歯をあげる警告画面 (DL) が一度表示されますが、ミシンをスタートしてください。
- ⑥ 押さえをあげて布を引き出し、上糸と下糸を20 cmくらい残して切ります。ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。



# ●ダーニング

20



20

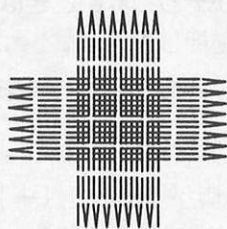
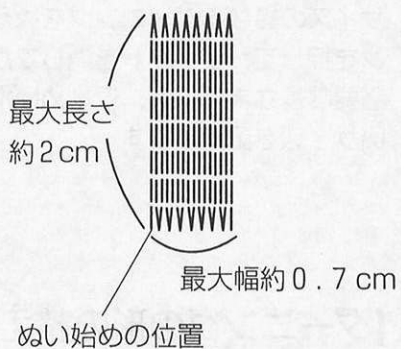
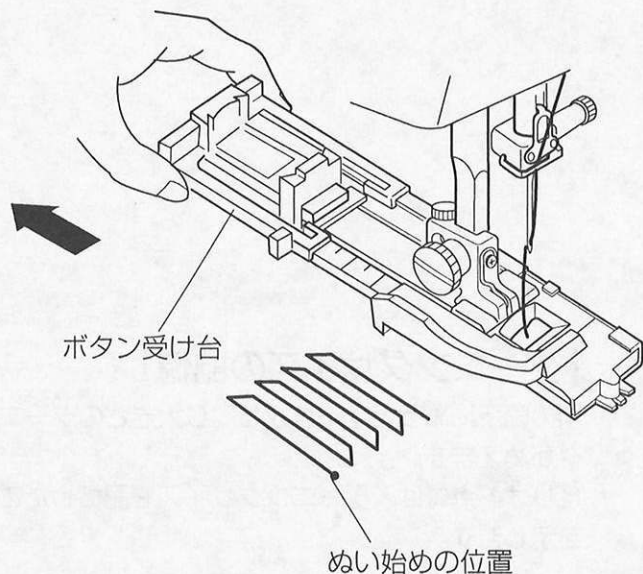
ミシンのセット

模様 ..... 20

押さえ ..... R: オートマチックボタンホール押さえ

糸調子 ..... 3~6

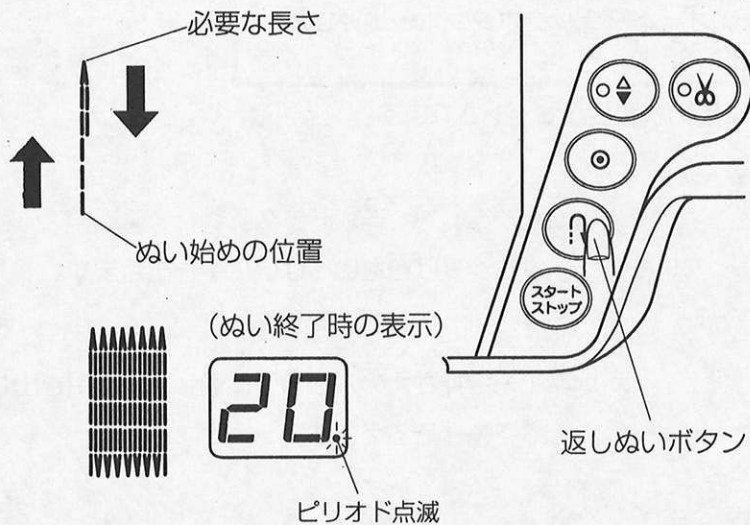
※ぬい終わりに自動糸切りがセットされます。



- ① ボタン受け台をいっぱい引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえをさげ自動的に止まるまでぬいます。  
※ 1回のぬいで、最大長さ約2 cm、最大幅約0.7 cmまでぬえます。
- ④ 布の向きをかえてくり返しぬいます。

## 【2 cmより短い長さでぬう場合】

最初に必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して、自動的に止まるまでぬいます。



## 【ダーニングサイズの記憶】

別の箇所にぬうと、くり返し同じ大きさのダーニングがぬえます。

ピリオド点滅は、ダーニングサイズを記憶したことを示します。

## 【ダーニングサイズの変更】

サイズの異なるダーニングをぬう場合、「記憶」ボタンを押して、ピリオドを消してからスタートします。必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して新しいサイズを記憶します。

## 【ダーニングの形の整え方】

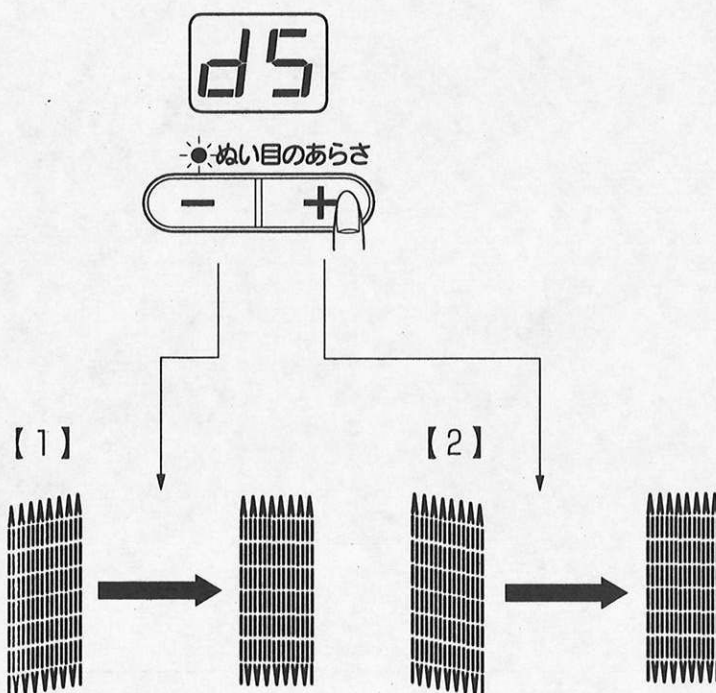
ダーニングのぬい始め（左側）と、ぬい終わり（右側）の高さがそろわないときは、「ぬい目のあらし」調節ボタンを押します。

自動セットの「d 5」が表示されます。

【1】左側が低いとき「-」ボタンを押します。

【2】右側が低いとき「+」ボタンを押します。

「d1」～「d9」の範囲で調節してください。



# ●かんぬき止め

21



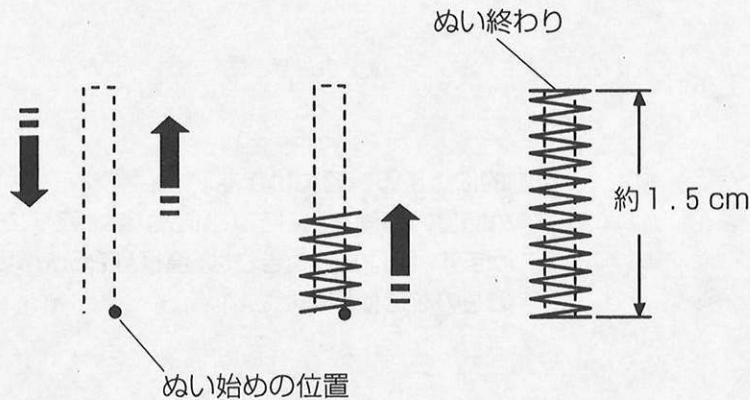
ミシンのセット

模様 ..... 21

押さえ ..... F: サテン押さえ

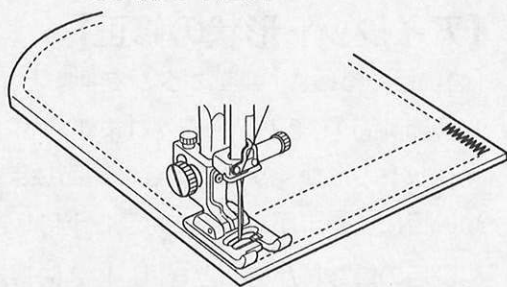
糸調子 ..... 3~6

※ぬい終わりに自動糸切りがセットされます。



ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。

1回のぬいで、オート値で約1.5 cmが自動的にぬえます。



## 【1.5 cmより短い長さでぬうとき】

必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

## 【かんぬき止めサイズの記憶】

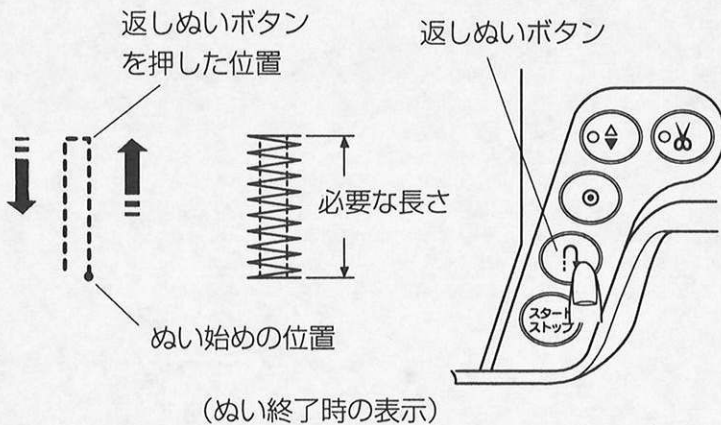
別の箇所にもぬうと、くり返し同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

ピリオド点滅は、かんぬき止めサイズを記憶したことを示します。

## 【かんぬき止めサイズの変更】

サイズの異なるかんぬき止めをぬう場合、「記憶」ボタンを押してピリオドを消し、スタートします。

必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押して新しいサイズを記憶します。



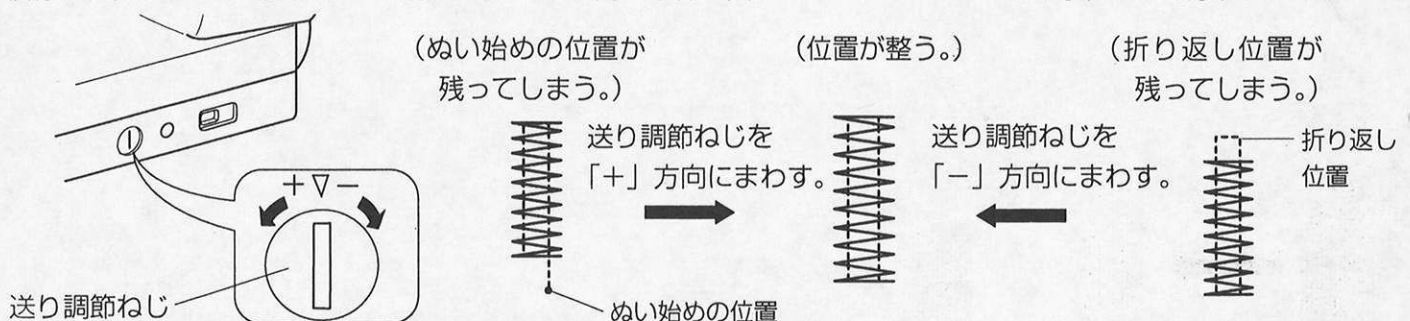
(ぬい終了時の表示)



ピリオドが点滅

## 【模様位置ずれの整え方】

模様の位置がずれる場合には、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。



注意：送り調節ねじを使ったあとは、必ず、送り調節ねじをもとの位置にもどしてください。スーパー模様または、オートボタンホールの形がくずれる場合があります。調節方法は60ページをごらんください。



# ●アイレット

22



22

ミシンのセット

模様 ..... 22

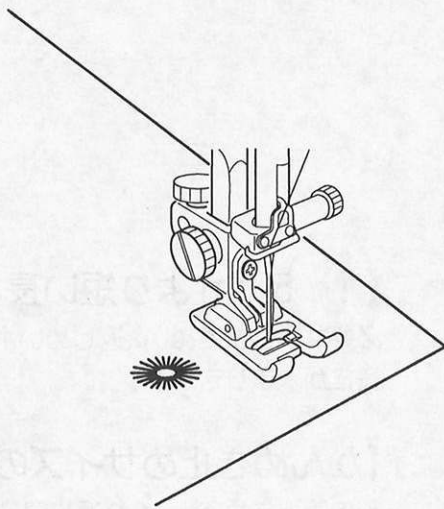
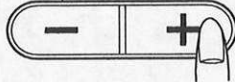
押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 1~4

※ぬい終わりに自動糸切りがセットされます。

L2

☀ぬい目のあらし



自動的に止まるまでぬいます。

※ ぬい目の内側を目打ち（市販品）などで穴をあけます。目打ちの大きさは、直径0.25cm以下のものをご使用ください。

## 【アイレット形状の修正】

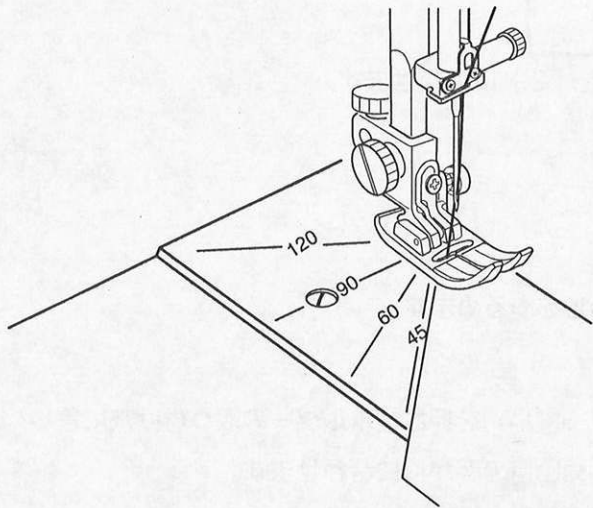
「ぬい目のあらし」調節ボタンを押すと、マニュアル調節画面「L2」が表示されます。布によってアイレットの形がくずれるときに調節します。

ぬい目にすきまがあるときは、L1にします。

ぬい目の重なりがあるときは、L3にします。

# ◎パッチワークキルト

## ●針板角度目盛の利用



パッチワーク布片の形状により針板の角度目盛りに布端を合わせると、印なしでぬえます。

### ●地ぬい

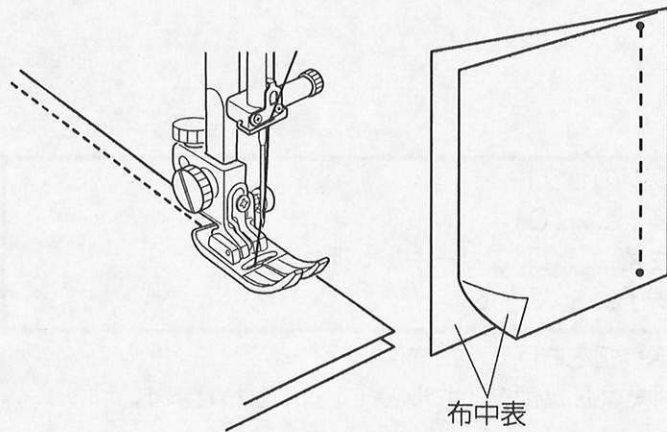


ミシンのセット

模様 ..... 01


押さえ ..... A:基本押さえ、または  
O:パッチワーク押さえ(オプション)

糸調子 ..... 2~6



パッチワーク布片を中表に合わせぬい代を0.6~0.7cmとりはぎ合わせます。

※オプションのパッチワーク押さえを使用するとぬい代が自動的に決まりますので便利です。

※自動返しぬい付き模様  を使用すると便利です。

### ●パッチワーク



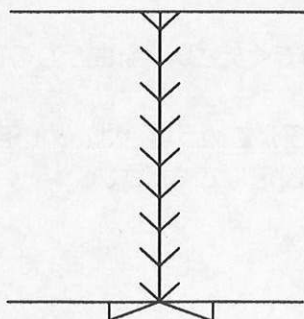
ミシンのセット

模様 ..... 23

押さえ ..... F:サテン押さえ

糸調子 ..... 1~4

※その他、模様は# 24~28などを使用ください。



布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

## ●キルティング

01  
—  
—  
—  
中

ミシンのセット

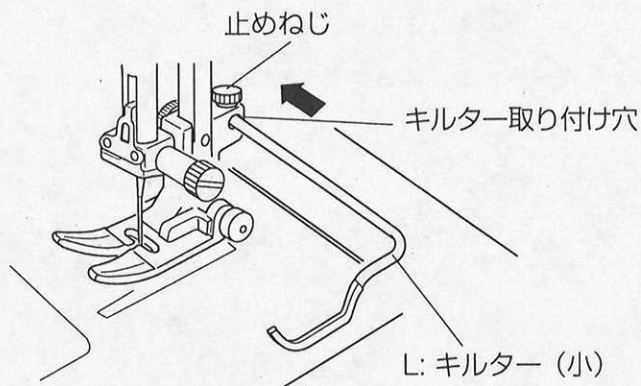
模様 ..... 01

押さえ ..... A: 基本押さえ

糸調子 ..... 2～6



※押さえ圧調節ダイヤルを「2」に合わせます。

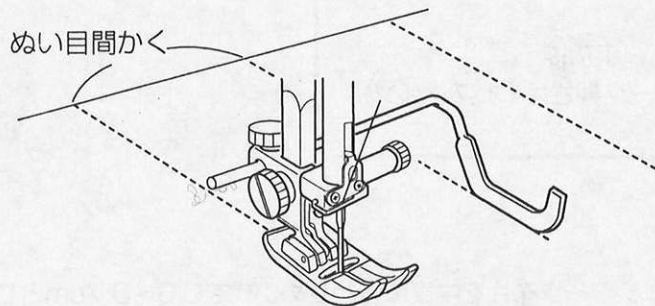


① 止めねじをゆるめます。

② キルター (小) を押さえホルダーの取り付け穴に差し込み、ぬい目の間かくに合わせます。

③ 止めねじをしめます。

※ キルターは、前にぬったぬい目をたどるのに使います。



## ●フリーキルティング

ミシンのセット

模様 ..... 01

押さえ ..... Q: フリーキルト押さえ

糸調子 ..... 2～6



※送り歯をさげてください。

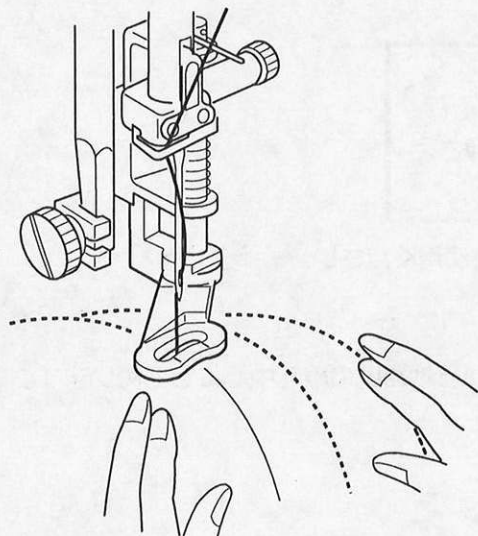
※押さえ圧調節ダイヤルを「1」に合わせます。

※ フリーキルト模様は、その他模様 # 02、# 31、# 62 も押さえ圧調節ダイヤルを「1」にして使用できます。

曲線などの図案を両手で布を案内しながらキルティングします。

※ 布を手前に引かないでください。針曲がりの原因になります。

※ ジグザグぬい (# 07) でぬう場合は、ぬい目の幅を必ず、5mm以下に設定してください。





# ●とじぬい (ワンサイクルぬいの例)

29



ミシンのセット

模様 ..... 29

押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 3~6

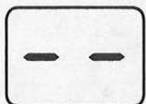
29

※押さえ圧調節ダイヤルを「2~3」に合わせます。

①



ピリオド



(模様受付け表示)



LED



記憶

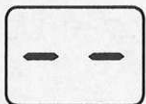
厚みのあるキルト綿を使う場合に、キルトをとじるときに使用します。

① 模様 # 29 を選んで、「記憶」ボタンを押します。

※ 記憶模様番号とピリオドが表示され、模様受付け表示にかわります。

※ 記憶模様を入力、編集できることを示すため、記憶LEDが点滅します。

②



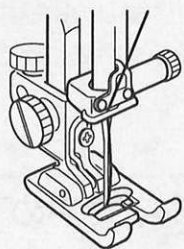
記憶

② 模様 # 47 (止めぬい記憶) を選び、記憶ボタンを押します。

※ 止めぬい記憶後は、模様を記憶することはできません。

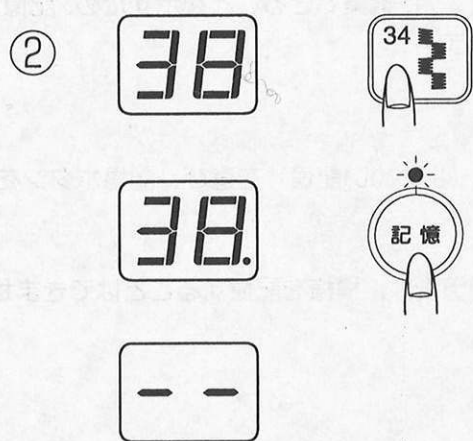
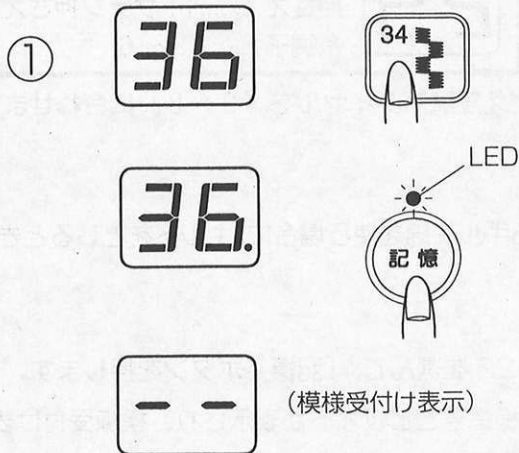
③ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。

模様を1つぬって自動的に止まります。

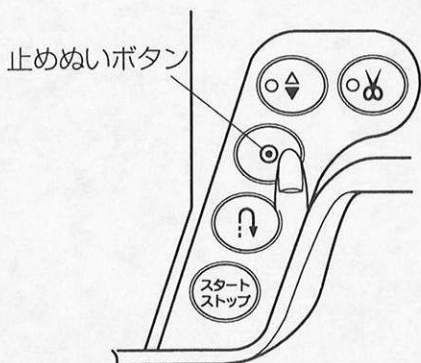


# ◎飾りぬい

## ●組み合わせ（記憶）連続模様ぬいの例



- ③ ミシンのセット  
 押さえ..... F: サテン押さえ  
 糸調子..... 1~4  
 押さえ圧..... 3



例. 模様 # 36、# 38 の組み合わせ

① 模様 # 36 を選び、記憶ボタンを押します。

- ※ 記憶模様番号とピリオドが表示され、模様受け表示にかかります。
- ※ 記憶 LED が点滅します。
- ※ 2本針LEDが点灯して2本針設定になっている場合には、「2本針」ボタンを押して、2本針LEDを消してください。

② 模様 # 38 を選び、記憶ボタンを押します。

③ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。

ぬい終わり

必要な模様数の最後のぬい途中で、止めぬいボタンを押すと、その模様をぬい終わると自動的に止めぬいをしてから止まります。



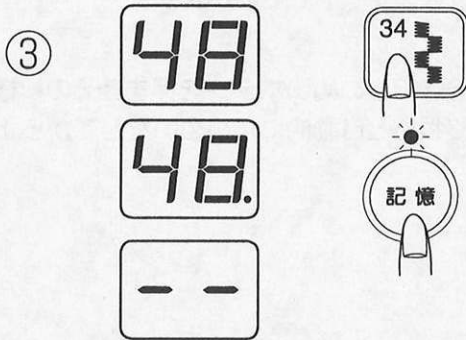
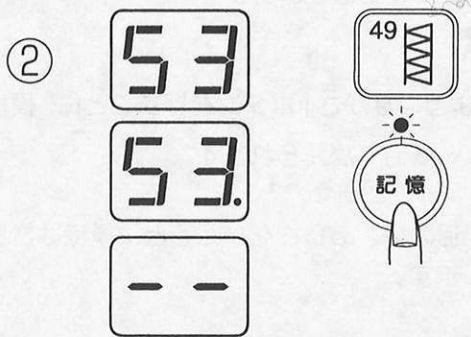
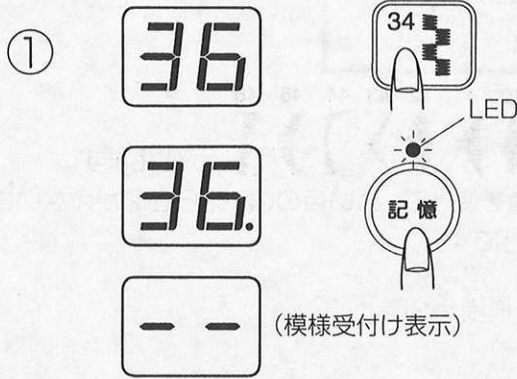
### 【記憶ぬいを途中でやめて、先頭模様にもどるとき】

ぬっている途中でミシンを止め、記憶ボタンを押すと、記憶模様の始めにもどります。

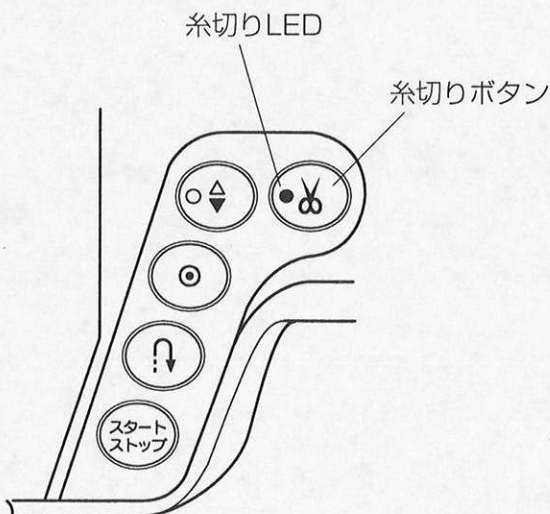


- 1 ミシンを止めた位置
- 2 記憶ボタンを押します。
- 3 ミシンをスタートすると、記憶した先頭模様からぬっていきます。

## ●自動糸切り記憶例



- ④ ミシンのセット  
 押さえ..... F: サテン押さえ  
 糸調子..... 1~4  
 押さえ圧..... 3



例. 模様 # 36、# 53、# 48 の組み合わせ

- ① 模様 # 36 を選び、記憶ボタンを押します。

- ※ 記憶模様番号とピリオドが表示され、模様受付け表示にかわります。
- ※ 記憶LEDが点滅します。

- ② 模様 # 53 を選び、記憶ボタンを押します。

- ③ 模様 # 48 を選び、記憶ボタンを押します。

糸切りLEDが点灯します。

- ④ 押さえをさげて、ミシンをスタートします。

- ※ めい終わりは、自動的に糸切りをして止まります。

### 【その他の自動糸切り】

#### 記憶模様ぬいの自動糸切り

- 模様を記憶後、糸切り記憶 (# 48) を記憶します。
- 糸切りLEDが点灯します。
- 止めぬい後に自動的に糸切りをします。



# ●エロンゲータぬい

36



ミシンのセット

模様 ..... 36

押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 1~4

**36**

34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46

※模様は、 が使えます。

※エロンゲータぬいとは、密着模様を使って、ぬい目の幅、あらさをかえないまま模様の長さをかえるぬいのことです。

**L2**



L1 L2 L3 L4 L5



例. 模様 # 36

- ① 模様 # 36 を選びます。
  - ② 「もようのながさ」 ボタンを押すごとに、模様長さは 1~5 倍でかえられます。
- ※ ぬい目の幅、あらさをかえると、模様はさらに変化します。
- ③ ミシンをスタートしてぬいます。
- ※ ぬい途中で止めぬいボタンを押すとその模様をぬい終わると自動的に止めぬいをしてから止まります。

# ●ファゴティング

54



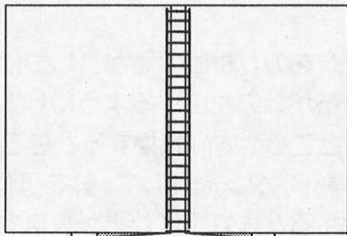
54

ミシンのセット

模様 ..... 54

押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 1~4



あて紙

布端と布端の間かくを0.3~0.4cmあけて、下にあて紙をします。

布の表から間かくの中央を中心にしてぬいます。

最後にあて紙を取ります。

# ●スモッキング

57



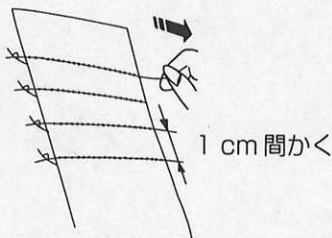
57

ミシンのセット

模様 ..... 57または55、56、58、59

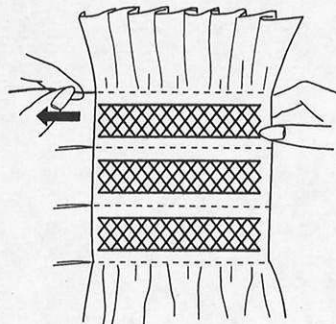
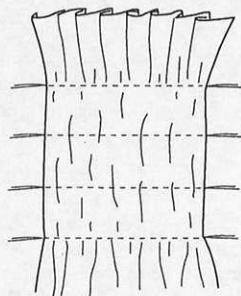
押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 1~4



## 【直線ぬい】

上糸の調子を弱くして、ぬい目のあらかさが0.3~0.4cmの直線を1cm間かくで数本ぬいます。



## 【模様ぬい】

上糸と下糸を布の片側で結び、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。直線ぬいと直線ぬいの間に模様ぬいをしてから直線ぬいの糸を抜き取ります。

# ●アップリケ

60      61  
} または }

60

## ミシンのセット

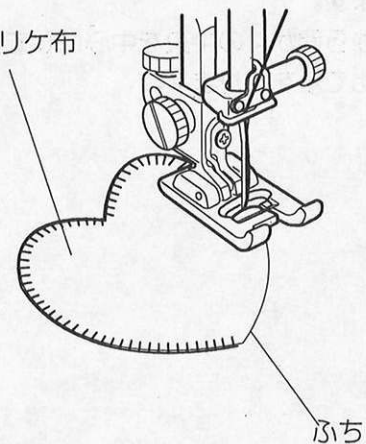
模様 ..... 60 または 61

押さえ ..... F: サテン押さえまたは、  
アップリケ押さえ (オプション)、F2: サテン押さえ (オプション)

糸調子 ..... 1~4

※押さえ圧調節ダイヤルを「2」に合わせます。

アップリケ布

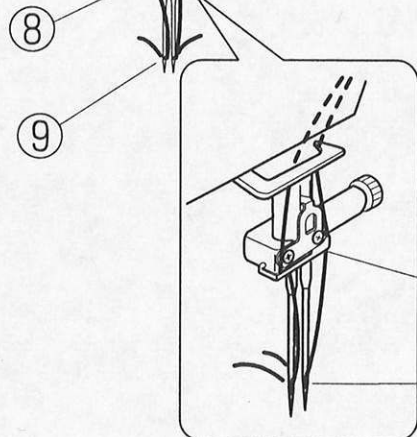
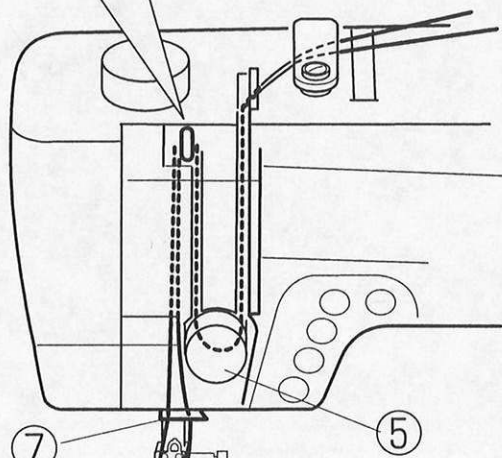
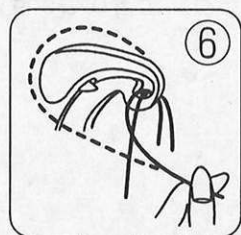
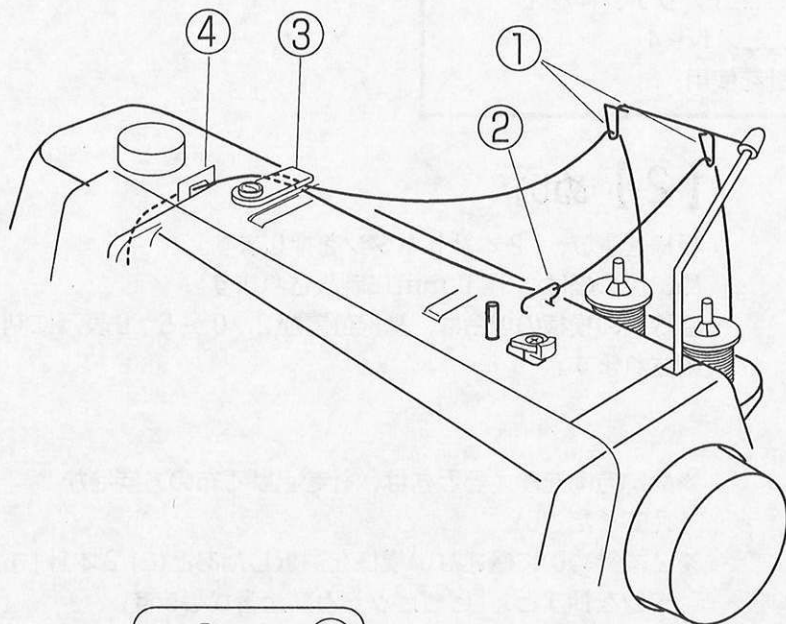


アップリケ布をのり付けするか、しつけで止めます。  
アップリケ布が針の左にくるようにしてぬっていきます。  
※カーブのところや方向転換するところでは、ミシンを止め、上下停針ボタンを押して、針を下位置にしたままで方向をかえるときれいに仕上がります。



# ◎ 2本針ぬい


## 【1】



針棒糸掛け

針穴

※ 2本針は、オプションです。

※ 2本針ぬいを行うときには、必ず  「2本針」ボタン押し、試しぬいをしてください。

※ 2本針設定した状態で、模様選択ボタンを押すと、2本針に適さない模様番号は表示されません。

※ 針の取りかえは、電源スイッチを切って行ってください。

※ 2本針ぬいのはきは、押さえはA:基本押さえ、または、F:サテン押さえをご使用ください。

※ 2本針ぬいのはきは、糸は60番より細い糸を使用してください。

※ 組み合わせ(記憶)ぬいでは、2本針ぬいはできません。

## 【1】 糸の通し方

2つの糸こまから引き出した2本の糸は、途中でよじれないように左の糸は、①、③～⑨の順序でかけ、右の糸は、①～⑨の順序で正しくかけてください。

①～⑦の糸の通し方は、1本針のときと同じです。

(16、17ページをごらんください。)

⑧ 針棒糸掛けに左右に分けてかけます。

⑨ 2本針に左右に分けて糸を通します。

※ 針穴に糸を通すときは、糸通しは使えませんので針の手前から向こう側に、手で通してください。

## 【2】

(例)

36



ミシンのセット

模様 ..... 36

押さえ ..... F: サテン押さえ

糸調子 ..... 1~4

※ 2本針を使用

## 【2】ぬい

模様を選び、「2本針」ボタンを押します。

ぬい目の幅は、3.0 mmに制限されます。

直線系の模様の場合は、基線位置が2.0~5.0表示に制限されます。




2本針ボタン

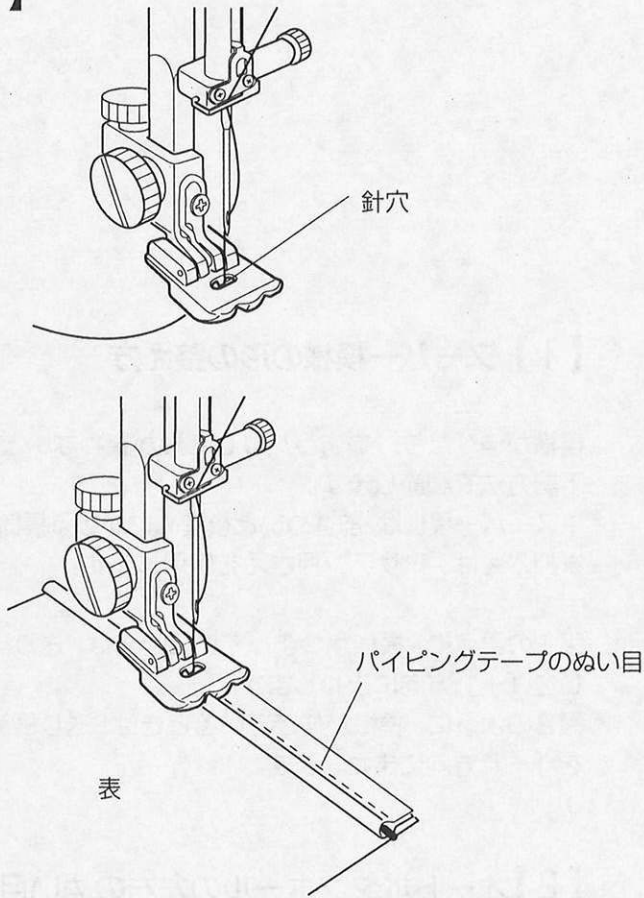
※ぬい方向をかえるときは、針を上げて布の方向をかえてください。

※2本針ぬいに適さない模様を選択したあとに「2本針」ボタンを押すと、「ピピピッ」と禁止音がします。

# ◎パイピング押さえの使い方

01 — ⊕		ミシンのセット 模様 ..... 01 押さえ ..... パイピング押さえ 糸調子 ..... 2～6
--------------	---	---

## 【1】



## 【1】パイピングテープ（市販品）のぬい合わせ方

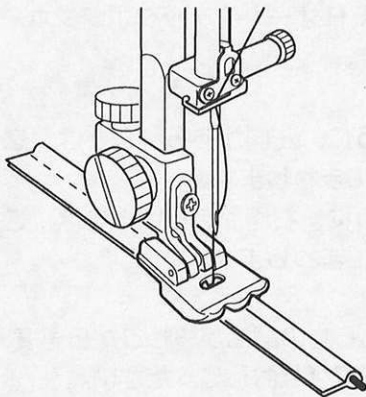
① 上糸は、パイピング押さえの針穴の上から下に向けて通して押さえの下に引き出しておきます。

② パイピング押さえの左側の溝を使って、パイピングテープを布地にぬい合わせます。

※ ぬい合わせるときの針落ちの位置は、「ぬい目の幅」調節ボタンでパイピングテープのぬい目とほぼ一致するように調節します。

パイピング押さえを使用することによって、直線あるいは、曲線に裁断した布地の縁にそってパイピングテープをきれいにぬい合わせるすることができます。

## 【2】



## 【2】パイピングテープの作り方

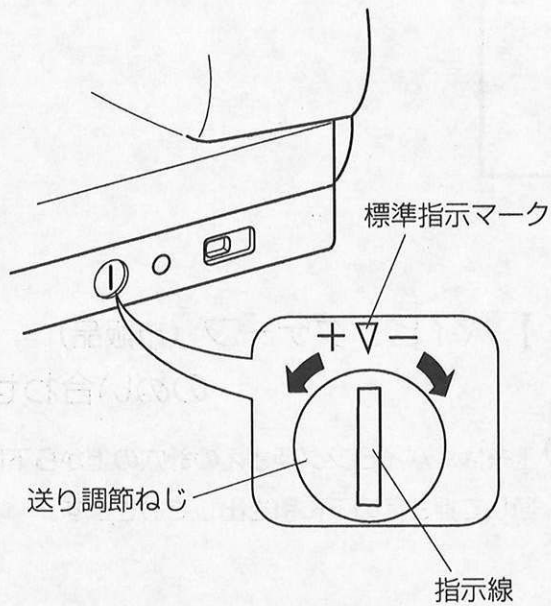
市販のパイピングテープが入手できない場合、あるいは、オリジナルなパイピングテープを作る場合には芯になるコードを用意して作ります。

パイピング押さえの溝は、左右どちらでも使用できます。

※ 針落ち位置は、「ぬい目の幅」調節ボタンで芯コードのきわをぬうように調節してください。



## ◎模様の形の整え方

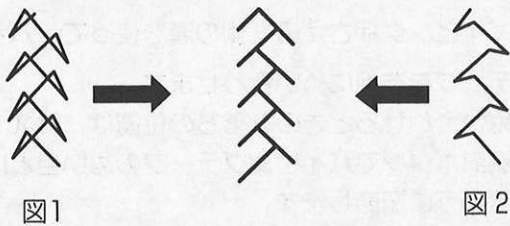


布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、模様の形がくずれる場合があります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が模様を正しくぬえる目安の位置です。

### 【1】

(例) 模様 # 52



### 【1】スーパー模様の形の整え方

模様が伸びたり、つまったりして形が整わないときは、下記方法で調節します。

※スーパー模様は、前進ぬいと後進ぬいがある模様です。

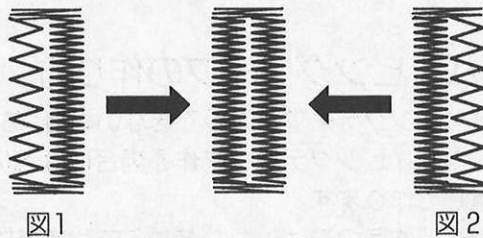
※押さえは、F:サテン押さえを使用します。

図1のように、模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように、模様が伸びているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

### 【2】

(例) 模様 # 17



### 【2】オートボタンホールの左右のぬい目あらしの整え方

※押さえは、R:オートマチックボタンホール押さえを使用します。

図1のように、左側があらいつきは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図2のように、右側があらいつきは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

※ぬい目あらしの調節が終わったら再度、オートボタンホールを選びなおしてください。

## ◎編集機能 1

### ●組み合わせ（記憶）模様の確認



(例) 模様 #36、#26、#40を記憶したとき

①



① 「2本針」ボタンを押す毎に、記憶した模様番号を順次表示します。

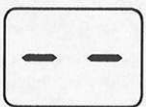
組み合わせぬいでは「2本針」ボタンは記憶模様順の表示位置を切りかえるはたらきをします。

まず、記憶した先頭模様番号が表示されブザーが「ピピー」と鳴ります。

※ 模様番号ピリオドの点滅は、記憶模様であることを示しています。



②



② 模様受け付け表示されたとき、記憶模様の最後であることを示します。

### ●組み合わせ（記憶）模様の削除



(例) 模様 #36、#26、#40を記憶し、模様 #26を削除するとき

①



① 「2本針」ボタンを押して、削除する模様番号を表示させます。

②



② 「とりけし」ボタンを押します。

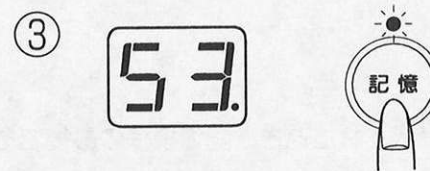
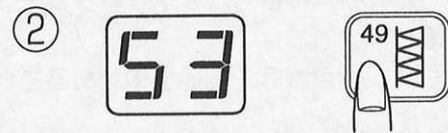
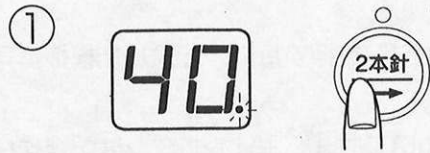
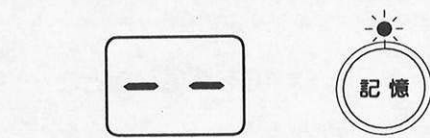
※ 模様 #26が取り消され、模様 #40が表示されます。

※ 「とりけし」ボタンを長く押し続けていると、全て削除され模様 # 01表示になります。同時に、記憶LEDは消えます。

※ 組み合わせ（記憶）模様をしたのち、ぬいを中止して他の模様をぬう場合には、必ず「とりけし」ボタンを長く押し、記憶LEDを消します。

## ●組み合わせ（記憶）模様の挿入

(例) 模様#36、#26、#40を記憶し、  
模様#26と#40の間に模様#53を挿入



① 「2本針」ボタンで挿入したい場所の次の模様番号を表示させます。

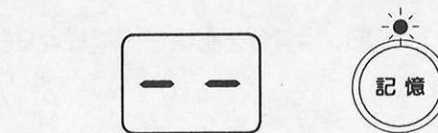
② 模様#53を選びます。

③ 「記憶」ボタンを押します。

※ 挿入した次の模様が表示されます。

## ●模様のコピー（記憶）

(例) 模様#36、#26、#40を記憶し、模様#26と#40の間に模様#26を1つコピー（記憶）



① コピーしたい模様を表示させます。

② 「記憶」ボタンを1回押します。  
(押した数だけコピーできます。)



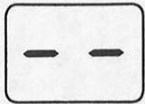
# ◎編集機能2

## ●統一マニュアル

組み合わせた複数模様全体を1つの模様として、ぬい目の幅、ぬい目のあらさを一括調節（同じ幅、あらさでぬい上げる）する方法です。

### 【1】 (模様受付け表示)

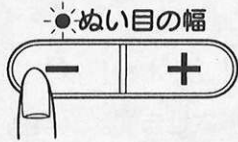
①



(ぬい目の幅7.0表示)

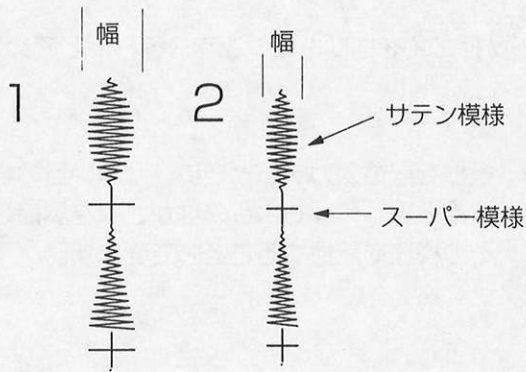


(ぬい目の幅5.0表示)



② ミシンのセット

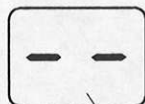
押さえ F: サテン押さえ  
糸調子..... 1~4



### 【2】 (ぬい終わり表示)



(模様受付け表示)



この表示にして  
値を変更します。



(例) 模様#36、#26、#38、#26を記憶

### 【1】 ぬい始める前に統一マニュアル値を変更する場合

① 模様受付け表示のとき、「ぬい目の幅」または、「ぬい目あらさ」調節ボタンを押します。

※ サテン（密着）模様とスーパー（前進ぬいと後進ぬい）がある模様）模様の組み合わせの場合には、ぬい目のあらさは、「オート値」設定になります。

② 押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬいます。

1 幅「7.0」のぬい

2 幅「5.0」のぬい

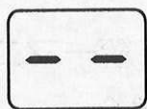
### 【2】 ぬったあとに統一マニュアル値を変更する場合

① 「2本針」ボタンを5回押し、模様受付け表示にして、「ぬい目の幅」または、「ぬい目あらさ」調節ボタンを押します。

② 押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬいます。

## ●個別マニュアル

組み合わせた個々の模様について、ぬい目の幅、ぬい目のあかさ、模様長さを異なるサイズでぬいたい場合に調節する方法です。



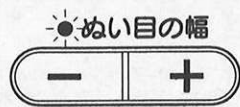
(例) 模様#36、#38を記憶し、模様#38のぬい目幅を変更

①



① 「2本針」ボタンを押して、変更する模様番号を表示させます。(模様#38)

②



② 「ぬい目の幅」調節ボタンを押し、幅を変更します。

③

ミシンのセット

押さえ..... F: サテン押さえ

糸調子..... 1~4

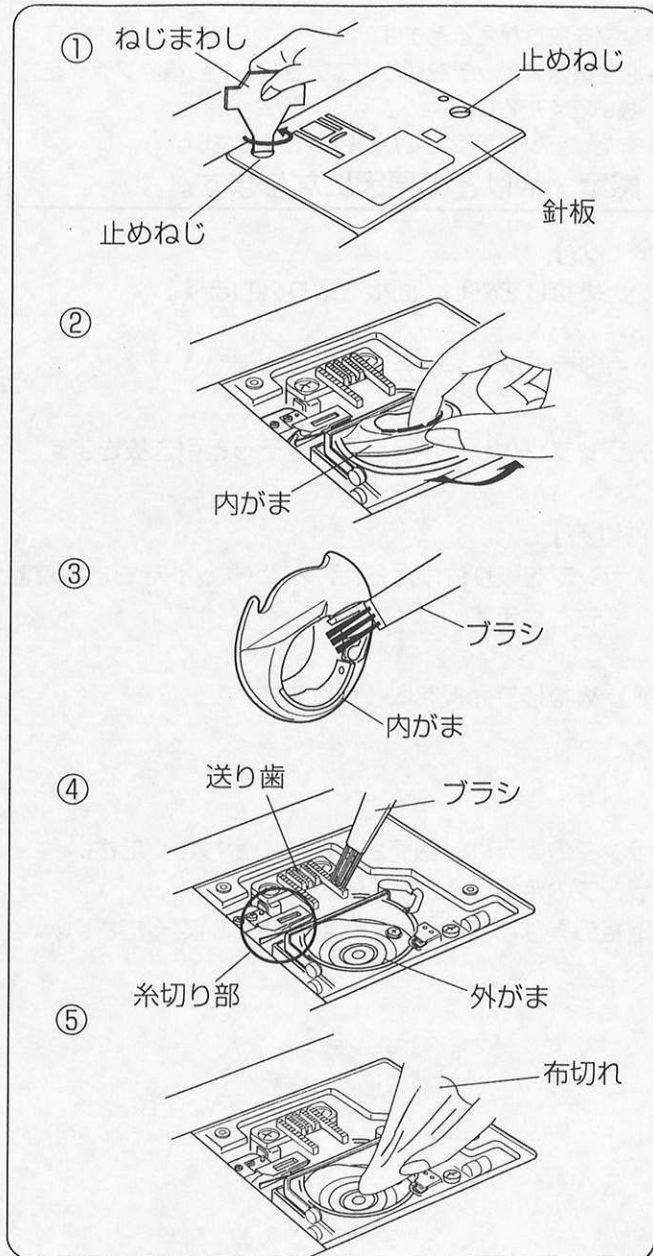
③ 押さえをさげ、ミシンをスタートしてぬいます。

※ 模様を記憶入力するときに、「ぬい目の幅」、「ぬい目あかさ」、「もよりのながさ」を調節した状態で、その模様を記憶することもできます。



## ◎ミシンの手入れ

### ●かまと送り歯、糸切り部の掃除



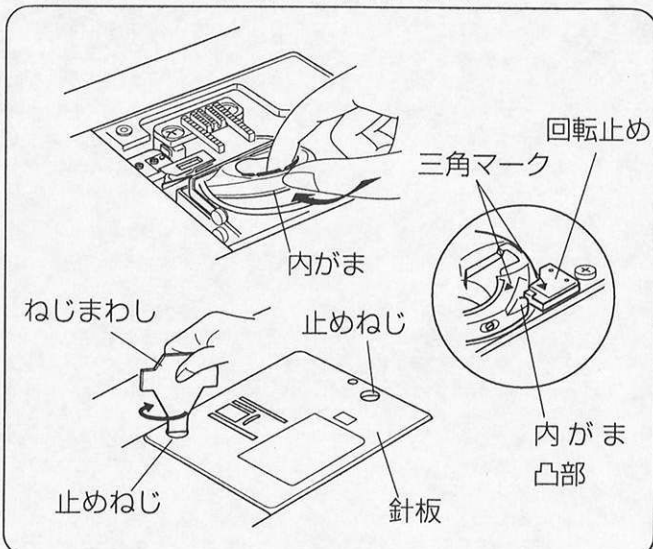
#### △注意

- お手入れのときは、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 説明されている場所以外は、分解しないでください。**感電・火災・けがの原因になります。**

- ① 針と押さえを外します。  
止めねじ（2ヶ）を外し、針板を外します。
- ② ボビンを取り出し、内がまの手前を上へ引きながら外します。
- ③ 内がまを、ブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④ 送り歯、糸切り部のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑤ 外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸い取ってください。

### ●内がまと針板の組み付け



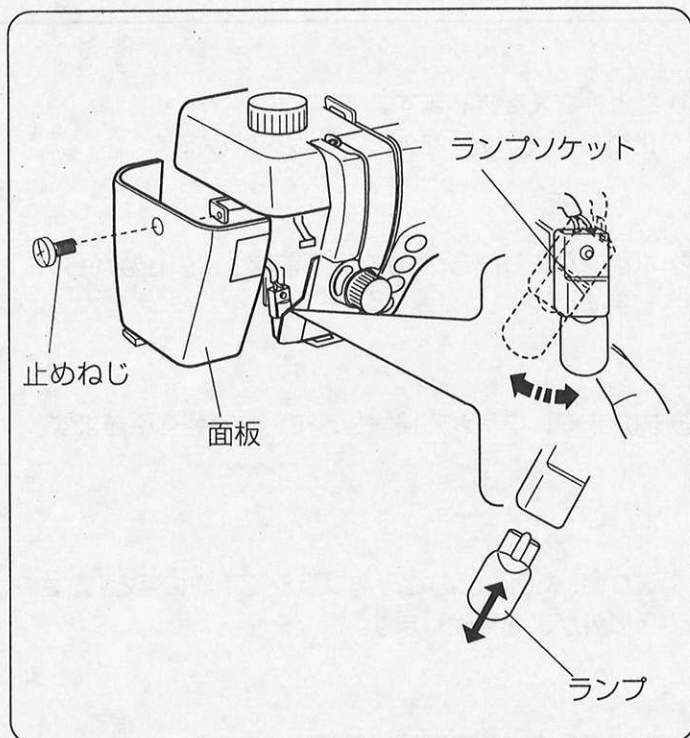
- ① 内がまを差し込みます。  
内がまの三角マークと回転止めの三角マークを合わせて、内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。

- ② ボビンを入れ、針板を止めねじで取り付けます。

※ 手入れが終わったら、忘れずに針と押さえを付けてください。



## ●ランプの取りかえ方



### ⚠ 注意

ランプを取りかえるときは、

- 必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- また、ランプが冷えてから行ってください。

**感電・やけどの原因になります。**

#### 【外し方】

- ① 止めねじを外し、面板を取り外します。
- ② ランプソケットを左へまわします。
- ③ ランプソケットからランプをそっと引き抜きます。


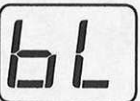



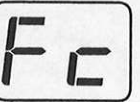

#### 【付け方】

- ① ランプを取り付けたら、ランプソケットをもとの位置にもどします。
- ② 止めねじで面板を取り付けます。



※ランプの購入は、販売店へお問い合わせください。  
ランプの定格は12V5Wです。  
定格の異なるランプは、取り付けないでください。

## ◎こんな表示が出た場合

警告音とともに下記の表示があった場合2秒間表示または、正しい操作が行われるまで表示されます。下記の対処方法にしたがってください。

表 示	対 処 方 法
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 押さえ上げをさげないで、ミシンをスタートすると表示されます。押さえ上げをさげてスタートします。</li> <li>2 めい終わらない前に押さえ上げをあげたとき表示され、ミシンが止まります。押さえ上げは、めい終わってからあげてください。特に、ニーリフトの操作には注意してください。</li> <li>3 押さえ上げをさげないで、糸切りボタンを押して、糸切りをしようとする则表示されます。押さえ上げをさげてから、糸切りボタンを押します。</li> </ol>
	<p>BHレバーをさげないでボタンホールを0.5 cmぬうと表示され、ミシンが止まります。 BHレバーを引きさげて再スタートします。</p>
	<p>糸巻きレバーを糸巻き位置にしないで、糸巻きボタンを押したとき表示されます。糸巻きレバーを糸巻き位置にしてから糸巻きボタンを押します。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 しつけ模様で送り歯をあげたままスタートしたとき表示されます。送り歯をさげて、スタートします。</li> <li>2 直線、ジグザグ等フリーキルト可能な模様で、送り歯をさげた状態でスタートしたとき、1回だけ表示されます。</li> <li>3 フリーキルト禁止模様で、送り歯をさげた状態でスタートしようとしたとき表示されます。送り歯をあげてスタートします。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全装置の作動により、ミシンモータが緊急停止したときと、その後15秒間のあいだに再スタートしようとする则表示されます。この時間はミシンの操作ができませんのでしばらくおまちください。糸がらみ等があったときには電源を切り、不要な糸を取り除いてください。</li> <li>2 めい中にドロップつまみを操作すると表示され、ミシンが止まります。めい中には、ドロップつまみを操作しないでください。</li> <li>3 糸巻き中に糸がらみ等で糸巻き軸がロックされると表示されます。電源を切り不要な糸を取り除いてください。</li> </ol>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 フットコントローラーを接続したまま、スタート・ストップボタンを押したときに表示します。フットコントローラープラグを外して、再スタートしてください。</li> <li>2 フットコントローラー使用中に、接続が外れたとき表示されミシンが止まりますので、プラグを接続して再スタートしてください。</li> <li>3 フットコントローラーを踏みこんだまま電源を入れたときに表示されます。踏み込みを外してください。</li> </ol>
	<p>ミシンが正しく作動しなかった場合に表示されます。 電源を切り、針板を外し、かまや送り歯、糸切りメスに糸がからんでいないか確認します。 直らない場合には、電源を切り、お買い上げ店へご連絡ください。</p>

## ◎ LED 点滅とブザー音の種類

表示	対処方法
 <p>LED</p>	<p>針が下位置で、電源を入れたときに表示されます。 上下停針ボタンを押して針をあげます。</p>
 <p>LED</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>糸切り途中で電源を切ったときや、糸切り中に糸がからんだとき、電源を切り不要な糸を取り除いたあと再度電源を入れたとき表示されます。 糸切りボタンを押して、糸切り動作を終了させてください。</li> <li>糸切りを終える前に押さえをあげたとき表示されます。 押さえ上げをさげ、糸切りボタンを押して、糸切り動作を終了させてください。</li> </ol>

### ★ブザー音の種類

ブザー音	内 容
ピッ	正しい操作をしたときの受付音です。
ピピピッ	不正な操作をしたときの禁止音または、ミシン異常時の警告音です。
ピピピー	ボタンホール等のぬい終了音です。



## ◎ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。</li> <li>2. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。</li> <li>4. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>5. めい始めに、上糸・下糸を押えの下にそろえて引いていない。</li> <li>6. 糸がかまなどからまっている。</li> <li>7. 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。</li> <li>8. 糸こまに上糸が引っかかっている。</li> </ol>	<p>16～17ページ参照</p> <p>21ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>23ページ参照</p> <p>65ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>糸こま押さえを付ける。</p>
下糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 下糸の通し方が、まちがっている。</li> <li>2. 内がまの中に、ごみがたまっている。</li> <li>3. ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。</li> </ol>	<p>15ページ参照</p> <p>65ページ参照</p> <p>ボビンを交換する</p>
針が折れる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>2. 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。</li> <li>3. めい終わったとき、布を手前に引いている。</li> <li>4. 布にくらべて針が細すぎる。</li> <li>5. 模様合った押さえを使用していない。</li> </ol>	<p>20ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>布を向こう側に出す。</p> <p>20ページ参照</p> <p>指定の押さえに交換する。</p>
めい目かとぶ。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>2. 布に対して、針と糸が合っていない。</li> <li>3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ニット針を使っていない。</li> <li>4. 上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>5. 品質の悪い針を使用している。</li> </ol>	<p>20ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>16～17ページ参照</p> <p>針を交換する</p>
めい目がしわになる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸調子が合っていない。</li> <li>2. 上糸下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。</li> <li>3. 布にくらべて針が太すぎる</li> <li>4. 布にくらべてめい目があらずすぎる。</li> <li>5. 押さえ圧が合っていない。</li> </ol> <p>※特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。</p>	<p>21ページ参照</p> <p>15、16～17ページ参照</p> <p>20ページ参照</p> <p>めい目を細かくする。</p> <p>22ページ参照</p>
布送りがうまくいかない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 送り歯に糸くすがたまっている。</li> <li>2. めい目が細かすぎる。</li> <li>3. 送り歯があがっていない。</li> </ol>	<p>65ページ参照</p> <p>めい目をあらくする</p> <p>22ページ参照</p>
めい目に輪ができる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 上糸調子が弱すぎる。</li> <li>2. 糸にくらべて針が太すぎるか、細すぎる。</li> </ol>	<p>21ページ参照</p> <p>20ページ参照</p>
ミシンがまわらない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。フットコントローラーのプラグがきちんと差し込まれていない。</li> <li>2. かまに、糸やごみがたまっている。</li> <li>3. ボビンに糸がからまっている。</li> <li>4. 押さえ上げがさがっていない。</li> </ol>	<p>6ページ参照</p> <p>65ページ参照</p> <p>ボビンの糸を確認する。</p> <p>10ページ参照</p>
ボタンホールがうまくいかない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 布に対して、めい目のあらしさが合っていない。</li> <li>2. 伸縮性のある布のとき、のびない芯地を使っていない。</li> <li>3. BHレバーがさがっていない。</li> </ol>	<p>41ページ参照</p> <p>37ページ参照</p> <p>38ページ参照</p>
音が高い。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. かまの部分に、糸くすが巻きこまれている。</li> <li>2. 送り歯に、ごみがたまっている。</li> <li>3. 電源投入時、制御モータからわずかな共鳴音がでる。</li> </ol>	<p>65ページ参照</p> <p>65ページ参照</p> <p>異常ではありません。</p>
めいずれがおこる。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 押さえ圧が合っていない。</li> </ol>	<p>22ページ参照</p>
糸切りLEDが点滅する。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 糸切りを終える前に押さえをあげている。</li> <li>2. 糸くすがたまっている。</li> </ol>	<p>糸切りボタンをもう一度押す。</p> <p>65ページ参照</p>

※静かな部屋で使うと、「ウーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モータから発生しているもので、めい作業上はとくに問題はありません。

※長時間使うと、表示窓と選択ボタンの部分の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、めい作業上はとくに問題はありません。

## 修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 無料修理保証期間内（お買い上げ日より一年間です）およびそれ以降の修理のつきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

## 修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

## 無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 使用説明書に従って、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過した後も、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。  
ただし、次のような場合は修理できないことがあります。
  - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 4) お買い上げ店、又は当社の指定した販売店以外で修理、分解、または改造したために不調、故障または損傷したとき。
  - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障、または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げ店が別に定める技術料の合計になります。

## お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は  
下記にお申しつけください。

株式会社 ジューキ  
東京都千代田区九段北 1-11-11  
TEL. 03-3265-2851

仕	様
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	50W / ランプ 12V 5W
外形寸法	幅 49.4cm × 奥行 23.5cm × 高さ 29.9cm
重量	12.0kg (本体)
使用針	家庭用 HA × 1
縫速度	毎分 700 針 フットコントローラー使用時 毎分 1000 針 (直線ぬい)

仕様及び外観は改良のため予告なく変更  
することがありますのでご了承下さい。

baby lock  
*Excim-mode*  
 3000

**株式会社 ジューキ**

本社 / 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-11-11 TEL 03(3265)2851(代表)

札幌 011 (737) 6821    仙台 022 (239) 3705    新潟 0250 (43) 4451  
 東京 03 (3265) 8741    名古屋 052 (917) 3671    大阪 06 (768) 3651  
 倉敷 086 (473) 0355    広島 082 (227) 5781    福岡 0942 (44) 7921

修理等のご依頼はお買い上げの販売店を通じてご連絡ください。

お客様へ \_\_\_\_\_  
 お買い上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買い上げ日	年      月      日
販売店名	
	TEL